

1 地業 工事	1 支持地盤	<ul style="list-style-type: none"> ・杭基礎 支持地盤の種類及び位置(基礎ぐいの先端の位置含む) ・ 図示による ・直接基礎 支持地盤の種類及び位置(基礎底部の位置含む) ・ 図示による 長期設計支持力度 ・ () kN/m2 ・地盤の載荷試験 ・ 行う 試験の位置、方法等は図示による 	1 地業 工事	<ul style="list-style-type: none"> 試験杭 (4.2.2) 試験杭の位置、本数及び寸法 ・ 図示による 杭の材料 (4.4.3) ・ 図示による 溶接材料 ・標準仕様書7.2.5による 施工方法 ・標準仕様書4.3.5による 杭の精度 (4.4.4) ・ 水平方向の位置ずれ ・ 杭径の1/4以内かつ100mm以下 ・ 杭の傾斜 ・ 1/100以内 杭の現場継手 (4.4.5) (4.4.3)(7.2.5) 形状 ・ JIS A 5525による 溶接材料 ・ 標仕 7.2.5(1)(2)による 溶接部の確認方法 ・ 標仕 7.6.10による 抜き取り率 ・ 全数 ・ 無溶接継手(継手部に接続金具を用いた方式のもの) 工法 ※ 審査(評定又は大臣認定)を受けた工法 検査 ※ 審査(評定又は大臣認定)により定められた項目 施工 ※ 審査(評定又は大臣認定)された施工管理基準による 杭頭の処理(切断方法) (4.4.6) ・ 処理しない(切断しない) ・ 処理する 処理方法(切断及び補強方法) ・ 図示による 杭頭の中詰め材料 ・ 基礎のコンクリートと同調合のもの 	1 地業 工事	<ul style="list-style-type: none"> 7 液状化対策 工法・() 仕様、範囲、計測、試験等 ・ 図示による 8 砂利地業 (4.6.2) 材料 ※ 再生クラッシュサン ・ 切込砂利及び切込砕石 9 捨てコンクリート (4.6.3) コンクリートの仕様 ※ 無筋コンクリートによる () (6.14.1~3) (6.14.1~3) セメントの種類 ・ 高炉セメントB種 () (6.3.2) 10 床下防湿層 (4.6.4) 施工範囲 ・ 建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下(ピット下を除く) ・ () 材料 ・ ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上 ・ () 防湿層の位置 ・ 図示による () 																	
	2 既製コンクリート杭地業	<ul style="list-style-type: none"> 種類 ・ 遠心力高強度プレストレストコンクリート杭(PHC杭) ・ 外殻鋼管付きコンクリート杭(SC杭) SC杭の鋼管材料 ・ SKK400 ・ SKK490 ・ プレストレスト鉄筋コンクリート杭(PRC杭) ・ () 試験掘 ・ あり 孔径はオーガー径とする 位置等は図示による 試験掘の施工は試験杭の施工に先立ち行う ・ なし 寸法、継手、性能等(種別:種類、性能及び曲げ強度区分) <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>杭径(mm)</th> <th>杭長(mm)</th> <th>継手数</th> <th>長期設計支持力(kN/本)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>試験杭</td> <td>上杭 中杭 下杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>本杭</td> <td>上杭 中杭 下杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 試験杭の施工 ※本杭の施工に先立ち行う () 試験杭の位置、本数 ※最初の一本 図示による 杭先端部形状 ・ 開放形 ・ 半開放形 ・ 閉そく形 () 施工方法 ・ 打込み工法(油圧ハンマー・ディーゼルハンマー) プレボーリングの併用 ・ 行う 掘削深さ及び径 ・ 図示による ・ 行わない 打込杭推定支持力の算定 ・ 図示による 杭の精度 水平方向の位置ずれ ・ 杭径の1/4かつ100mm以下 () 杭の傾斜 ・ 1/100以内 () ・ セメントミルク工法 アースオーガーの支持地盤への掘削深さ ・ 1.5m程度 () 杭の支持地盤への根入れ深さ ・ 1.0m以上 () 杭の精度 水平方向の位置 ・ 杭径の1/4かつ100mm以下 () 杭の傾斜 ・ 1/100以内 () ・ 特定埋込杭工法 ・ H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力方式で α=250を採用できる工法 図示による ・ 上記以外の特定埋込杭工法 図示による 工法 ・ プレボーリング拡大根固め工法 ・ 中掘り拡大根固め工法 ・ () 杭周固定液 ・ 使用する ・ 使用しない 杭の精度 水平方向の位置 ・ 杭径の1/4かつ100mm以下 () 杭の傾斜 ・ 1/100以内 () 杭継手工法 ・ アーク溶接継手 ・ 標仕 4.3.6による 溶接材料 ・ 標仕 7.2.5(1)(2)による ・ 標仕 7.2.5(1)(2)以外() ・ 無溶接継手(継手部に接続金具を用いた方式のもの) 工法 ※ 審査(評定又は大臣認定)を受けた工法 ・ () 検査 ※ 審査(評定又は大臣認定)により定められた項目 ・ () 施工 ※ 審査(評定又は大臣認定)された施工管理基準による ・ () 杭頭処理 ※【県:第2編 4.3.8】による () 杭頭補強用コンクリート型枠 ※ 鋼製型枠 () 杭頭補強 ※【県:第2編 図4.3.1~4.3.2】による 図示による 	種類	杭径(mm)	杭長(mm)	継手数	長期設計支持力(kN/本)	備考	試験杭	上杭 中杭 下杭					本杭	上杭 中杭 下杭					4 場所打ちコンクリート杭地業	<ul style="list-style-type: none"> 杭径、長さ、仕様等 ・ 図示による () 材料その他 帯筋 ・ 図示による 鉄筋の最小かぶり厚さ ・ 図示による セメントの種類 ※ 高炉セメントB種 () (4.5.4)(6.3.1) コンクリートの種別 (4.5.4)(表4.5.1) ・ A種 ・ B種 ・ 審査(評定又は大臣認定)された内容による コンクリートの設計基準強度 () N/mm2 (4.5.4~6) 構造体強度補正値(S) (4.5.4) ・ 3N/mm2 ・ 審査(評定又は大臣認定)された内容による ・ () 掘削工法 (4.5.1)(4.5.5~6) ・ アースドリル工法 安定液 ・ 使用する ・ 使用しない ・ リバース工法 ・ オールケーシング工法 孔内の水張り ・ 行う ・ 行わない 併用する工法 ・ 場所打ち鋼管コンクリート杭工法 図示による 鋼管巻き材料 ・ SKK400 ・ SKK490 () ・ 拡底杭工法 図示による 安定液 ・ 使用する ・ 使用しない ・ () 試験杭 (4.2.2)(4.5.5~6) 試験杭の施工 ※本杭の施工に先立ち行う () 試験杭の位置、本数 ※最初の一本 図示による 孔壁測定 (4.5.5~6) ・ 行う 測定方法、測定箇所は図示による ・ 行わない 杭の精度 水平方向の位置ずれ ・ 100mm以下 () 杭の傾斜 ・ 1/200以内 () 工法 ・ 浅層混合処理工法 適用範囲、仕様及び計測、試験は図示による 長期設計支持力 ・ () kN/m2 () ・ 深層混合処理工法 適用範囲、仕様及び計測、試験は図示による 長期設計支持力 ・ () kN/m2 () 形状、支持地盤、仕様 ・ 図示による 長期設計支持力 ・ () kN/m2 () セメントの種類 (6.3.1) ・ 高炉セメントB種 () コンクリートの設計基準強度 () N/mm2 構造体強度補正値(S)=() N/mm2 	2 鉄筋 工事
種類	杭径(mm)	杭長(mm)	継手数	長期設計支持力(kN/本)	備考																		
試験杭	上杭 中杭 下杭																						
本杭	上杭 中杭 下杭																						

2 鉄筋工事	7 各部配筋	各部配筋 ※ 図示による () (5.3.7)	4 鉄骨工事	1 鉄骨製作工場	鉄骨製作工場の加工能力 (7.1.3) ※ 建築基準法第77条の56に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認定を受けた(株)日本鉄骨評価センター及び(株)全国鉄骨評価機構(旧(株)全国鉄骨工業協会)の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める下記のグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場 ・ S ・ H ・ M ・ R ・ J グレード ・ 監督員の承諾する工場(標仕 7.1.1 以外の適用範囲に限る。)	4 鉄骨工事	15 鉄骨の製作精度	※ 標仕 7.3.3による (7.3.3) 溶接ずれ及び食い違い ・ 溶接部はH12建告示1464号第二号イ(1)(2)に規定する仕様を満足すること ・ 溶接ずれ及び食い違いはH12建告示1464号第二号イ(1)(2)に規定するただし書きの計算確認有り。 ・ 図示による ()
	8 圧接完了後の試験	外観試験 (5.4.10) ※ 行う (全数) 抜取試験 ※ 超音波探傷試験 ・ 引張試験		2 施工管理技術者	・ 適用する (7.1.3~4) ・ 適用しない		16 鉄骨の仮組	仮組を行う範囲 ※ 図示による () (7.3.10) 確認方法、確認項目 ※ 図示による ()
	9 帯筋	組立の形の種別 ※ 図示による		3 鋼材	材質等 (7.2.1) (表7.2.1) 種類の記号 適用箇所 規格 ※ 図示による() ※ JISによる ・ 大臣認定による ・ ※ 図示による() ※ JISによる ・ 大臣認定による ・ 有効解長比(圧縮材に限る) ※ 図示による ()		17 溶接技能者の技量付加試験	試験の要領及び試験を要する溶接箇所 ※ 図示による () (7.6.3)
	10 最上階柱頭補強	補強方法 ※ 図示による		4 高力ボルト	ボルトの区分 (7.2.2) (7.3.2) (7.4.1~9) ※ トルネア形高力ボルト セツトの種類 ・ 2種 (S10T) () ・ JIS高力ボルト セツトの種類 ・ 2種 (F10T) () 高力ボルトの径 ・ 図示による () ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・ 図示による () すべり係数試験 ※ 行わない (7.4.2) ※ 行う 試験方法等 ・ 図示による ()		18 溶接接合	開先の形状 ※ 図示による () (7.6.4) スカラップの形状 ※ 図示による () (7.6.7) エンドタブの切除する部分 ※ 全て (7.6.7) ・ 見え掛り部となる部分 ・ 切除する部分なし 溶接部の余盛り高さ () (7.6.7)
	11 片持ちスラブの出隅部の補強配筋(出隅受け部分の補強筋を含む)	配筋方法 ※ 図示による 出隅部分及び出隅受け部の補強筋 ※ 図示による		5 普通ボルト	ボルト及びナットの種類 ・ 標仕 表7.2.3による () (7.2.3) 座金 ・ 標仕 7.2.3(4)による () () ボルトの径 ・ 図示による () () ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・ 図示による () (7.2.3) (7.3.2)		19 現場溶接の有無	・ 無し ・ 有り 適用箇所 ・ 図示による ()
	12 壁開口部の補強	一般壁 ※ 図示による 耐震壁 ※ 図示による		6 溶融亜鉛めっき高力ボルト	セツトの種類 (7.2.2) (7.12.3~4) ・ 1種(F8T相当) () 溶融亜鉛めっき高力ボルトの径 ・ 図示による () 溶融亜鉛めっき高力ボルトのめっき前の孔径 ・ 図示による () (7.3.8) ※ 審査(評定又は大臣認定)を受けた内容による () ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・ 図示による () ・ () 摩滅面の処理 ・ プラスト処理(表面粗度50µm Rz以上) ・ ()		20 入熱、バス間温度溶接条件	鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件 ・ 図示による () 適用箇所 ・ 図示による () ・ 柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部
	13 梁貫通孔の補強	補強形式 ※ 図示による 配筋種別 ※ 図示による 梁貫通孔径(部材記号含む)及び配筋種別リスト ※ 図示による		7 アンカーボルト	適用 (7.2.4) (表7.2.3) (7.10.3) ・ 構造用アンカーボルト セツトの種類 ・ JSS II 13-2004 ABR400 ・ JSS II 13-2004 ABR490 ・ () 形状、寸法 ・ 図示による () ・ 建方用アンカーボルト 材質 ・ SS400 () アンカーボルト及びナットのねじの種類、規格、ねじの等級の規格及び仕上げの程度 ・ 標仕 表7.2.3による () 形状、寸法 ・ 図示による ()		21 溶接部の試験	完全溶込み部の超音波探傷試験 (7.6.12) (表7.6.2~4) ※ 行わない ※ 行う ・ 工場溶接の場合 ・ 全数検査 ・ 抜取検査 AOQL(%) ・ 4.0 ・ 2.5 節 全て 検査水準 第6水準 ・ 工事現場溶接の場合 ・ 全数検査 ・ 計数連続生産型抜取検査 AOQL(%) (4.0 2.5)
	14 基礎梁主筋の継手	※ 図示による		8 溶接材料	溶接材料 (7.2.5) ※ 標仕 7.2.5(1)(2)による。 ・ 標仕 7.2.5(1)(2)以外の溶接材料 材料及び使用箇所 ・ 図示による ()		22 錆止め塗装	塗料の種類 (7.8.4) (18.3.2) ・ 鉄鋼面の錆止め塗料 屋外 ・ 標仕 18.3.2 表18.3.1()種 ・ () 屋内 ・ 標仕 18.3.2 表18.3.1()種 ・ () 亜鉛めっき鉄面の錆止め塗料 ・ 標仕 18.3.2 表18.3.2()種 ・ () 鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面(鉄骨に溶接されたものに限る) ・ 標仕 18.3.2 表18.3.1()種 ・ () 耐火被覆材の接着する面への塗装 ※ 行わない ・ 行う 適用箇所 ・ 図示による () 塗料の種類 ・ 標仕 18.3.2 表18.3.1()種 ・ 標仕 18.3.2 表18.3.2()種
	15 機械吊上用フック	種別 ※ 図示による		9 ターンバックル	種類 (7.2.6) 建築用ターンバックル頭 ・ 割弁式 () 建築用ターンバックルボルト ・ 羽子板ボルト () ねじの呼び ・ 図示による ()		23 耐火被覆	種別 (7.9.2~7) 種別 材料・工法 適用箇所(部位・部分) ・ 耐火材吹付け ・ 乾式吹付けロックウール ・ 半乾式吹付けロックウール ・ 湿式ロックウール ・ 耐火板張り ・ 繊維混入けい酸カルシウム板 ・ 耐火材巻付け ・ 高断熱ロックウール ラス張りモルタル塗り
	コンクリートの種類及び強度	普通コンクリートの設計基準強度 (6.2.2) 設計基準強度 (Fc) N/mm ² 種別 ・ 18 ・ 21 ・ 24 ・ 27 普通コンクリート 部位 軽量コンクリート 部位 上記には補正値Sは含まれない 軽量コンクリートの設計基準強度 (6.2.2) 設計基準強度 (N/mm ²) 適用箇所 ・ 24 スラブの値(単位:cm) (6.2.4) (表6.2.2) 打込み箇所 基礎、基礎梁 土間スラブ 柱、梁、スラブ、壁 所要スラブ 15、18 18		10 デッキプレート	材質、形状及び寸法 (7.2.7) 適用箇所 材質・形状・寸法 備考 ・ 構造床 ・ 合成スラブ ・ 床型枠用		性能 性能 適用箇所(部位・部分) ・ 30分耐火 ・ 1時間耐火 ・ 2時間耐火 ・ 3時間耐火	
	2 レディーミクストコンクリートの類別	類別 (6.2.1) (表6.2.1) ※ I類 ・ II類		11 レール及びその付属品	形状及び寸法等 () ・ 図示による ()		24 アンカーボルトの保持及び埋込み工法	建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法 (7.2.4) (7.10.3) (表7.10.1) 種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 構造用アンカーボルトの保持及び埋込み工法 種別 ・ 図示による () 柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種別 (7.10.3) (表7.10.2) ※ 標仕 表7.10.2 (※A種[モルタル厚さ50]・B種[モルタル厚さ30])による
3 セメント	種類 (6.3.1) (表6.3.1) ※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で352J/g以下、かつ28日目で402J/g以下のものとする。 施工箇所() ・ 高炉セメントB種 () 施工箇所() ・ フライアッシュセメントB種 () 施工箇所() ・ ()	12 スタッド	材質、形状及び寸法 (7.2.8) ※ 頭付きスタッド JIS B 1198 () ()	25 軽量形鋼構造	接合部(ボルト接合の場合) (7.11.2) ・ 普通ボルト接合 ()			
4 骨材	アルカリシリカ反応性による区分 (6.3.1) ・ A ・ B	13 柱底均しモルタル	モルタルの種類 (7.2.9) ※ 無収縮モルタル () 無収縮モルタルの材料、割合等 材料、割合等 ※ 標仕 7.2.9(2)による () 品質及び試験方法 ※ 標仕 表7.2.5による ()	26 溶融亜鉛めっき(耐力上必要な部分)	種別等 (7.12.4) (表14.2.2) 亜鉛めっきの種類 材料 備考 A種 最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板 B種 最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板 C種 普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類 最小板厚2.3mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板 ※ 素地ごしちえは、JIS H 8641による 適用箇所 ※ 図示による ()			
5 軽量コンクリート	種類 (6.10.1) (表6.10.1) ・ 1種 ・ 2種	14 工作図	監督員による現寸検査 ・ 行わない (7.3.2) ※ 行う 増築工事等を含め、既存建築物との取り合い箇所がある場合は現場実測の上作成を行う。	27 梁貫通孔の補強	補強方法 ・ 補強トラス法 () ・ () 適用箇所 ※ 図示による ()			
6 無筋コンクリート	適用箇所 (6.14.1) ・ 標仕 6.14.1(4)による箇所 ・ 標仕 6.14.1(4)以外の箇所 ・ 図示による () 設計基準強度 (6.14.1) ※ 18N/mm ² () スラブ ※ 15cm又は18cm ()							
7 ひび割れ懸発目地打設目地	目地寸法 (6.6.4) (6.8.1) (9.7.3) ・ 標仕 9.7.3による () 間隔、位置、形状 ・ 図示による ()							
8 コンクリート仕上り	部材の位置及び断面寸法の許容差の標準値 (6.2.6) (表6.2.3) ・ 標仕 表6.2.3による () 合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ (6.2.6) (6.9.3) (表6.2.4) ※ コンクリートの打放し仕上げ種別と適用箇所は図示による							
9 打増し厚さ(打放し仕上げ部)	・ 打放し仕上げ(打上塗材、塗装等の仕上げを行う部分を含む) (6.8.1) の打増し厚さ(外部に面する部分に限る) ・ 20mm () ・ 打放し仕上げ(打上塗材、塗装等の仕上げを行う部分を含む)の打増し厚さ(内部に面する部分に限る) ・ () ・ 外壁タイル張りで、MCR工法又は目荒らし(高圧水洗)工法を行う場合は外部側に20mmの打増しを行う							
10 型枠	せき板の材料 (6.8.2) ・ 合板(国産材) () ・ () せき板の厚さ ・ 12mm () 断熱材の兼用 ・ 行う 適用箇所() ・ 行わない スリーブの材質 ※ 標仕 6.8.2(9)(4)及び表6.8.1による ()							
11 圧縮強度試験	公的機関でコンクリートの材齢28日圧縮強度試験を行う建築物・その部位等 建築物名 部位 ※ 躯体 ()							

 福島県建築関係工事特記仕様書	福島県〇〇建設事務所建築住宅課 電話〇〇〇-〇〇〇〇 FAX〇〇〇-〇〇〇〇 住所 〇〇市××町△△△1-1		建築士事務所名	工事名称
	設計年: 令和〇〇年〇〇月	設計者氏名	印	図面名称

5 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事

1 補強コンクリートブロック造 (8.2.2~5)

断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ	長さ	高さ	化粧の有無	適用箇所	備考
※ 空洞ブロック-16	・120 ※150	※400	※200	※無		
・型枠状ブロック-20				※無		

各部の配筋 ※図示による
化粧目地の有無 ・無 ・有

2 コンクリートブロック 縦壁及び壁 (8.3.2~3)

断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ	長さ	高さ	化粧の有無	(表8.3.1)以外の適用箇所	備考
・空洞ブロック-08	・120 ※150	※400	※200	※無 ・有		
・空洞ブロック-16	・120 ※150	※400	※200	※無 ・有		

各部の配筋 ※図示による
化粧目地の有無 ・無 ・有

3 ALCパネル (8.4.2~5)

パネルの種類	単位荷重(N/㎡)	厚さ	幅	耐火性能	表面加工	構造の種類
・外壁パネル		・100		・30分 ・1時間 ・2時間	・平 ・意匠	・A種・B種
・間仕切壁パネル		・100		・30分 ・1時間 ・2時間	・平 ・意匠	・C種・D種・E種
・屋根パネル		・100		・30分 ・1時間 ・2時間	・平	F種
・床パネル		・100		・30分 ・1時間 ・2時間		

外壁パネルの出隅及び入隅のパネル接合部、並びにパネルと他部材との取合い部の目地幅(mm) ※20 ・ ()
伸縮目地への耐火目地材の充填 ・適用する ・適用しない

4 押出成形セメント板 (8.5.2~5)

パネルの種類	表面形状	厚さ	幅	耐火性能
・外壁パネル	・F ・ F-R ・D ・ D-R ・T ・ T-R	・50 ・60 ・100		・30分 ・1時間 ・2時間
・間仕切壁パネル		・50 ・60 ・100		・30分 ・1時間 ・2時間

パネルの相互の目地幅(mm) ※長辺 8以上 短辺 15以上 ・ ()
出隅及び入隅のパネル接合目地の目地幅(mm) ※15 ・ ()
やむを得ず欠き込み等を行う場合は、下表の寸法を限度とする。ただし、欠損部分を考慮した強度を確認のうえ、施工計画書を提出する。

パネルに開口を設ける場合	開口の大きさ	短辺	長辺	目地幅
パネルに開口を設ける場合	短辺	・	・	・
パネルを切り欠く場合	短辺	・	・	・
	長辺	・	・	・

6 防水工事

2 改質アスファルトシート防水 (9.3.2~4) (表9.3.1~3)

種別	施工箇所	断熱材	防湿層	備考
・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J1 ・AS-T3 ・AS-T4				
・ASI-T1 ・ASI-J1	(材質) ※JIS A 9511によるA種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号又は2号で透湿係数を除く規定に適合するもの (厚さ) ※25mm		・設ける (改質アスファルト製造所の仕様による) ・設けない	

仕上塗料 ※カラー ・シルバー
改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※ 標仕 表9.3.1~表9.3.3による
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※ 標仕 表9.3.1~表9.3.3による
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※ 標仕 表9.3.1~表9.3.3による
押え金物
※ 改質アスファルト製造所の仕様による

3 合成高分子系ルーフィングシート防水 (9.4.2~4) (表9.4.1~2)

種別	施工箇所	絶縁用シートの材質	断熱材	仕上塗料	使用量
・S-F1 ・S-F2 ・S-M1 ・S-M2 ・S-M3 ・SI-F1				※カラー・シルバー	
・SI-F2		(材質) ※A種ポリエチレンフォーム保温材の密度及び熱伝導率の規格に適合するもの (厚さ) ※25mm		※カラー・シルバー	
・SI-M1		(材質) ※A種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号又は2号で透湿係数を除く規定に適合するもの又はA種押出し法ポリスチレンフォーム保温材の保温板		※カラー・シルバー	
・SI-M2		※発泡ポリエチレンシート (厚さ) ※25mm			

ルーフィングシートの種類及び厚さ
※ 標仕 表9.4.1~表9.4.2による
防水下地かPCコンクリート部材下地の処理
目地処理 ※図示による ・ ()
入隅部の増張り(S-F1, SI-F1の場合) ※図示による ・ ()

4 塗膜防水 (9.5.2~4) (表9.5.1~2)

種別	施工箇所	仕上塗料	保護層	使用量
・X-1 ・X-2 ・Y-1 ・Y-2		※カラー ・シルバー ※カラー ・シルバー		
	※ 地下外壁防水 ※ 屋内防水		・適用する ※ 適用しない	

5 ケイ酸系塗膜防水 (9.6.2~4) (表9.6.1~2)

種別	施工箇所	種別	施工箇所
※ C-UI		・ C-UP	

6 脱気装置 (9.2.3) (9.3.3) (9.5.3)

種別	種類	設置数量
D-1 D-2 D-3 D-4 DI-1 DI-2 AS-T3 AS-T4 ASI-T1 ASI-J1 X-1	※アスファルトルーフィング類製造所の仕様による ・ () ※防水層の主材料の製造所の仕様による ・ ()	※アスファルトルーフィング類製造所の仕様による ・ ()

7 シーリング (9.7.2~5) (表9.7.1)

ただし、外壁タイル接着剤張りの場合のシーリングは11章に、カーテンウォールの場合のシーリングは17章による

施工箇所	シーリング材の種類(記号)

シーリング材の目地寸法 ※標仕 9.7.3(1)(7)~(9)による ・ ()

8 保証書の提出 保証書のある場合は提出すること。

9 屋根コンクリート防水 (表:第2編 9.8.2) (表:第2編 9.8.3)

クラック防止溶接用金網 (厚さ) ※100*100
※ 3.2*100*100 ・ ()
屋根スラブの配筋 (厚さ) ※25mm

10 施工履歴 ※ 監督員と表示内容を協議し、指示の位置に取り付ける (表:第1編 1.3.7)

7 石工事

1 施工

2 石材等 (10.2.1~3) (表10.2.1~2)

施工箇所	品質	石材の種類	形状	寸法	厚さ	表面仕上げ	備考
	・1等品 ・2等品		※正方形に近い矩形	・図示		・粗磨き ・本磨き	
	・1等品 ・2等品		※正方形に近い矩形	・図示			

テラゾブロック

施工箇所	種別	種石の大きさ(mm)	形状	仕上げ	寸法	表面仕上げ	備考
	・大理石 ・花こう岩	※1.5~12	・平もの ・段もの	・片面 ・両面	・図示		
	・大理石 ・花こう岩	※1.5~12	・平もの ・段もの	・片面 ・両面	・図示		

テラゾタイル

施工箇所	種別	種石の大きさ(mm)	寸法による区分	表面仕上げ	備考
	・大理石 ・花こう岩	※1.5~12	・300型 ・400型		
	・大理石 ・花こう岩	※1.5~12	・300型 ・400型		

取り付用モルタル、既調合の目地モルタル、石裏面処理材、裏打ち処理材
※ 石材施工業者の指定する製品

3 外壁湿式工法 (10.2.2~3) (10.3.2~3)

石裏面処理 ・適用する ・適用しない
裏打ち処理 ・適用する ・適用しない
下地ごしらえ ※ 洗ひ筋工法 ・あと施工アンカー工法 ・あと施工アンカー、横筋横流し工法
受金物 材質 ※SS400 ・ ()
形状及び寸法 ・ L-75×75×6(mm)の加工 L=100mm
・ L-75×75×6(mm)の加工 L=150mm

ドレインパイプの材質 ・ 樹脂ネット製パイプ クロスメッシュ巻き 25~35φ
アンカーの材質及び径 ※SS400 M12 ()
あと施工アンカーの材質及び寸法 ()
目地 一般目地 目地幅(mm) ※6以上 ・ ()
シーリング材 ・適用する ・適用しない
伸縮調整目地 位置 ※ (11.1.3)による ・ 図示による
シーリング材の目地寸法 ※ (9.7.3(1)(9))による ・ 図示による

4 内壁空洞工法 (10.2.2) (10.4.2~3)

受金物 材質 ※SS400 ・ ()
形状及び寸法 ・ L-75×75×6(mm)の加工 L=100mm
・ L-75×75×6(mm)の加工 L=150mm

石裏面処理 ・適用する ・適用しない
裏打ち処理 ・適用する ・適用しない
下地ごしらえ ※あと施工アンカー、横筋横流し工法 ・あと施工アンカー工法
アンカーの材質及び径 ※SS400 M ()
あと施工アンカーの材質及び寸法 ()
目地 一般目地 目地幅(mm) ※ ()
シーリング材 ・適用する ・適用しない
伸縮調整目地 位置 ※6mmごと ・ 図示による
シーリング材の目地寸法 ※ (9.7.3(1)(9))による ・ 図示による

5 乾式工法 (10.2.2) (10.5.2~3) (表10.2.4)

取付け方式 ・スライド方式 ・ロッキング方式
石裏面処理 ・適用する ・適用しない
裏打ち処理 ・適用する ・適用しない
だば用の穴の位置 ※標仕 10.5.2(2)(7)による ・ 図示による
外壁の工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法

※ 適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法)
・適用しない

アンカーの材質及び形状 ※ステンレス(SUS304) M10 ・ ()
あと施工アンカーの材質及び寸法 ()
目地 目地幅(mm) ※8以上 ・ ()
シーリング材 ・適用する(※標仕 9章7節による) ・ 図示) ・適用しない

6 床及び階段の石張り (10.6.2~3)

床石張りの裏面処理 ・適用する ・適用しない
階段張りの裏面処理 ・適用する ・適用しない
目地 一般目地 目地幅(mm) ・ 図示による
シーリング材 ・適用する ・適用しない
伸縮調整目地 位置 ※床面積30㎡程度ごと、細長い通路の場合6㎡程度ごと及び他部材との取合い部
・ 図示による

7 アーチ、上げ裏等の石張り (10.2.2) (10.7.2)

取付け工法 ・外壁湿式工法 ・内壁空洞工法 ・乾式工法
取付け金物 ※標仕 10.2.2(3)による
引金物、だば、かすがい及び受金物 ※標仕 10.2.2(1)による
吊金物及び化粧吊りボルト
・設ける 吊金物 ※ステンレス(SUS304)径6mm長さ80mm(加工物)
・ ()
吊りボルト ※ステンレス(SUS304)M10化粧ナット付き
・ ()
・設けない
石裏面処理 ・適用する ・適用しない
裏打ち処理 ・適用する ・適用しない
アンカーの材質及び径 ・SS400 M12 ・ステンレス(SUS304) M10
あと施工アンカーの材質及び寸法 ()
目地 一般目地 目地幅(mm) ※6以上
伸縮調整目地 位置 ※他の部位との取合い部 ・ 図示

8 笠木、甲板等の石張り (10.2.2) (10.7.3)

取付け工法 ・外壁湿式工法 ・乾式工法
取付け金物 ※標仕 10.2.2(3)による
引金物、だば、かすがい及び受金物 ※標仕 10.2.2(1)による
石裏面処理 ・適用する ・適用しない
乾式工法の場合の取付け代 ※標仕 10.5.3(2)による
石裏の補強用モルタル ・適用する ・適用しない
アンカーの材質及び径 ・ステンレス(SUS304) M10
あと施工アンカーの材質及び寸法 ()

9 製造所及び施工業者 監督員の承諾による。

8 タイル工事	1 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地	位置 ※標仕 表11.1.1による - 図示による (11.1.3)(表11.1.1)																																								
	2 セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り	<p>タイルの形状、寸法等 (11.2.2)(11.2.2~8)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>主な用途による区分</th> <th>形状/寸法</th> <th>吸水率による区分</th> <th>うわぐすり</th> <th>役物</th> <th>色</th> <th>再生材の適用</th> <th>耐凍</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>I類 II類 III類</td> <td></td> <td>ⅠⅡⅢ</td> <td>施す/しない</td> <td>有/無</td> <td>標準/特</td> <td>有/無</td> <td>有/無</td> <td></td> </tr> </table> <p>標準的な曲りの役物は一体成形とする 試験張り ・行方 ※行わない 見本焼き ・行方 ※行わない モルタル塗りのコンクリート素地の処理・MCR工法・目荒し工法(高圧洗浄)・壁タイル張りの工法 外装タイル ※密着張り ・改良積上げ張り ・改良圧着張り 内装タイル以外のユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り</p> <p>既製適合モルタル モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。 (混和剤・性能・試験方法) 建築材料等品質性能表による</p> <p>タイルの形状、寸法等 (11.3.2~8)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>主な用途による区分</th> <th>形状/寸法</th> <th>吸水率による区分</th> <th>うわぐすり</th> <th>役物</th> <th>色</th> <th>再生材の適用</th> <th>耐凍</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>I類 II類 III類</td> <td></td> <td>ⅠⅡⅢ</td> <td>施す/しない</td> <td>有/無</td> <td>標準/特</td> <td>有/無</td> <td>有/無</td> <td></td> </tr> </table> <p>標準的な曲りの役物は一体成形とする 試験張り ・行方 ※行わない 見本焼き ・行方 ※行わない 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 外装タイル接着剤張りにおける目地のシーリング材 打継ぎ目地 ※ポリウレタン系シーリング材 () ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系シーリング材 () 伸縮調整目地 ※変成シリコン系シーリング材 () その他の目地 ※変成シリコン系シーリング材 () モルタル塗りをコンクリート素地の処理・MCR工法・目荒し工法(高圧洗浄) ()</p>	施工箇所	主な用途による区分	形状/寸法	吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	再生材の適用	耐凍	備考		I類 II類 III類		ⅠⅡⅢ	施す/しない	有/無	標準/特	有/無	有/無		施工箇所	主な用途による区分	形状/寸法	吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	再生材の適用	耐凍	備考		I類 II類 III類		ⅠⅡⅢ	施す/しない	有/無	標準/特	有/無	有/無	
	施工箇所	主な用途による区分	形状/寸法	吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	再生材の適用	耐凍	備考																																
		I類 II類 III類		ⅠⅡⅢ	施す/しない	有/無	標準/特	有/無	有/無																																	
施工箇所	主な用途による区分	形状/寸法	吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	再生材の適用	耐凍	備考																																	
	I類 II類 III類		ⅠⅡⅢ	施す/しない	有/無	標準/特	有/無	有/無																																		
3 接着剤による陶磁器質タイル張り	<p>タイルの形状、寸法等 (11.3.2~8)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>主な用途による区分</th> <th>形状/寸法</th> <th>吸水率による区分</th> <th>うわぐすり</th> <th>役物</th> <th>色</th> <th>再生材の適用</th> <th>耐凍</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>I類 II類 III類</td> <td></td> <td>ⅠⅡⅢ</td> <td>施す/しない</td> <td>有/無</td> <td>標準/特</td> <td>有/無</td> <td>有/無</td> <td></td> </tr> </table> <p>標準的な曲りの役物は一体成形とする 試験張り ・行方 ※行わない 見本焼き ・行方 ※行わない 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 外装タイル接着剤張りにおける目地のシーリング材 打継ぎ目地 ※ポリウレタン系シーリング材 () ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系シーリング材 () 伸縮調整目地 ※変成シリコン系シーリング材 () その他の目地 ※変成シリコン系シーリング材 () モルタル塗りをコンクリート素地の処理・MCR工法・目荒し工法(高圧洗浄) ()</p>	施工箇所	主な用途による区分	形状/寸法	吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	再生材の適用	耐凍	備考		I類 II類 III類		ⅠⅡⅢ	施す/しない	有/無	標準/特	有/無	有/無																						
施工箇所	主な用途による区分	形状/寸法	吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	再生材の適用	耐凍	備考																																	
	I類 II類 III類		ⅠⅡⅢ	施す/しない	有/無	標準/特	有/無	有/無																																		
4 陶磁器質タイル型枠先付け	<p>タイルの形状、寸法等 建築工事監理指針(11.4.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>主な用途による区分</th> <th>形状/寸法</th> <th>吸水率による区分</th> <th>うわぐすり</th> <th>役物</th> <th>色</th> <th>再生材の適用</th> <th>耐凍</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>I類 II類 III類</td> <td></td> <td>ⅠⅡⅢ</td> <td>施す/しない</td> <td>有/無</td> <td>標準/特</td> <td>有/無</td> <td>有/無</td> <td></td> </tr> </table> <p>標準的な曲りの役物は一体成形とする 試験張り ・行方 ※行わない 見本焼き ・行方 ※行わない</p> <p>タイル型枠先付けの種類</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>適用タイル</th> <th>タイル型枠先付け面のせき板の種類</th> </tr> <tr> <td>・タイルシート法</td> <td>・小ロタイル</td> <td>※ 標仕 6.8.2(2)(イ)</td> </tr> <tr> <td>・目地挿法</td> <td>・二丁掛けタイル</td> <td>・金属製タイル先付け用パネル</td> </tr> <tr> <td>・桟木法</td> <td>大形タイル</td> <td></td> </tr> </table>	施工箇所	主な用途による区分	形状/寸法	吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	再生材の適用	耐凍	備考		I類 II類 III類		ⅠⅡⅢ	施す/しない	有/無	標準/特	有/無	有/無		種類	適用タイル	タイル型枠先付け面のせき板の種類	・タイルシート法	・小ロタイル	※ 標仕 6.8.2(2)(イ)	・目地挿法	・二丁掛けタイル	・金属製タイル先付け用パネル	・桟木法	大形タイル										
施工箇所	主な用途による区分	形状/寸法	吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	再生材の適用	耐凍	備考																																	
	I類 II類 III類		ⅠⅡⅢ	施す/しない	有/無	標準/特	有/無	有/無																																		
種類	適用タイル	タイル型枠先付け面のせき板の種類																																								
・タイルシート法	・小ロタイル	※ 標仕 6.8.2(2)(イ)																																								
・目地挿法	・二丁掛けタイル	・金属製タイル先付け用パネル																																								
・桟木法	大形タイル																																									

9 木工事	1 表面仕上げ	<p>表面仕上げの種類別 (12.1.4)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>※ B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td></td> </tr> </table>	種類	適用箇所	・A種		※ B種		・C種																																																						
	種類	適用箇所																																																													
	・A種																																																														
※ B種																																																															
・C種																																																															
2 製材	<p>「製材の日本農林規格」による下地用製材 (12.2.1)(12.5.1)(12.6.1)(12.7.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法</th> <th>等級</th> <th>形状</th> <th>含水率</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※2級</td> <td></td> <td>※A種・B種</td> <td></td> </tr> </table> <p>「製材の日本農林規格」による造作用製材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法</th> <th>等級</th> <th>形状</th> <th>含水率</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等</td> <td></td> <td>※A種・B種</td> <td></td> </tr> </table> <p>「製材の日本農林規格」による広葉樹製材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法</th> <th>等級</th> <th>形状</th> <th>含水率</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等</td> <td></td> <td>※A種・B種</td> <td></td> </tr> </table> <p>「製材の日本農林規格」以外の製材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法</th> <th>造作材の材面の品質</th> <th>防虫処理</th> <th>難燃処理</th> <th>含水率</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>()</td> <td>・適用する</td> <td>・適用する</td> <td>※A種・B種</td> <td></td> </tr> </table> <p>・代用樹種を使用できない箇所 ()</p>	施工箇所	樹種	寸法	等級	形状	含水率	備考				※2級		※A種・B種		施工箇所	樹種	寸法	等級	形状	含水率	備考				※1等		※A種・B種		施工箇所	樹種	寸法	等級	形状	含水率	備考				※1等		※A種・B種		施工箇所	樹種	寸法	造作材の材面の品質	防虫処理	難燃処理	含水率	備考				()	・適用する	・適用する	※A種・B種					
施工箇所	樹種	寸法	等級	形状	含水率	備考																																																									
			※2級		※A種・B種																																																										
施工箇所	樹種	寸法	等級	形状	含水率	備考																																																									
			※1等		※A種・B種																																																										
施工箇所	樹種	寸法	等級	形状	含水率	備考																																																									
			※1等		※A種・B種																																																										
施工箇所	樹種	寸法	造作材の材面の品質	防虫処理	難燃処理	含水率	備考																																																								
			()	・適用する	・適用する	※A種・B種																																																									
3 造作用集成材	<p>「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 (12.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法</th> <th>見付け材面の等級</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等</td> <td></td> </tr> </table> <p>「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>化粧薄板の樹種</th> <th>芯材の樹種</th> <th>寸法</th> <th>見付け材面の等級</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等</td> <td></td> </tr> </table> <p>「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>化粧薄板の樹種</th> <th>芯材の樹種</th> <th>寸法</th> <th>化粧薄板の厚さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※A種・B種</td> <td></td> </tr> </table> <p>「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>化粧薄板の樹種</th> <th>芯材の樹種</th> <th>寸法</th> <th>化粧薄板の厚さ(mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※A種・B種</td> <td></td> </tr> </table>	施工箇所	樹種	寸法	見付け材面の等級	備考				※1等		施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法	見付け材面の等級	備考					※1等		施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法	化粧薄板の厚さ(mm)	備考							施工箇所	樹種	寸法	見付け材面の品質	含水率	備考					※A種・B種		施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	備考							※A種・B種	
施工箇所	樹種	寸法	見付け材面の等級	備考																																																											
			※1等																																																												
施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法	見付け材面の等級	備考																																																										
				※1等																																																											
施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法	化粧薄板の厚さ(mm)	備考																																																										
施工箇所	樹種	寸法	見付け材面の品質	含水率	備考																																																										
				※A種・B種																																																											
施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	備考																																																								
						※A種・B種																																																									

9 木工事	4 造作用単板積層材	<p>「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材 (12.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ</th> <th>表面の化粧加工</th> <th>防虫処理</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・有り(加工・天然木加工・塗装加工)</td> <td>・適用する</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・無し(等級:)</td> <td>・適用しない</td> <td></td> </tr> </table> <p>「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ</th> <th>表面の化粧加工</th> <th>防虫処理</th> <th>含水率</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・有り(加工・天然木加工・塗装加工)</td> <td>・適用する</td> <td>※14%以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・無し()</td> <td>・適用しない</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	施工箇所	厚さ	表面の化粧加工	防虫処理	備考			・有り(加工・天然木加工・塗装加工)	・適用する				・無し(等級:)	・適用しない		施工箇所	厚さ	表面の化粧加工	防虫処理	含水率	備考			・有り(加工・天然木加工・塗装加工)	・適用する	※14%以下				・無し()	・適用しない																																														
	施工箇所	厚さ	表面の化粧加工	防虫処理	備考																																																																										
			・有り(加工・天然木加工・塗装加工)	・適用する																																																																											
			・無し(等級:)	・適用しない																																																																											
	施工箇所	厚さ	表面の化粧加工	防虫処理	含水率	備考																																																																									
			・有り(加工・天然木加工・塗装加工)	・適用する	※14%以下																																																																										
			・無し()	・適用しない																																																																											
5 床張り用合板等	<p>「普通合板」 (12.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ</th> <th>表板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>板面の品質</th> <th>防虫処理</th> <th>難燃処理</th> <th>防火処理</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※5.5</td> <td>・ラワン</td> <td>※1類</td> <td>広葉樹</td> <td>・適用する</td> <td>・適用する</td> <td>・適用する</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・なし</td> <td>※2類</td> <td>※2等以上</td> <td>・適用しない</td> <td>・適用しない</td> <td>・適用しない</td> <td></td> </tr> </table> <p>「構造用合板」 (12.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ</th> <th>等級</th> <th>表板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>板面の品質</th> <th>有効断面係数</th> <th>防虫処理</th> <th>強度等級</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※12</td> <td>※2級以上</td> <td>※1類</td> <td>※1類</td> <td>※C-D以上</td> <td></td> <td>・適用する</td> <td>・適用する</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・1級</td> <td></td> <td>・特類</td> <td></td> <td></td> <td>・適用しない</td> <td>・適用しない</td> <td></td> </tr> </table> <p>「パーティクルボード」</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ</th> <th>表裏面の状態による区分</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>接着剤による区分</th> <th>難燃性による区分</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※15</td> <td></td> <td>※13タイプ</td> <td>※P又はM</td> <td></td> </tr> </table> <p>「構造用パネル」</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ</th> <th>等級</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・1級</td> <td>・2級</td> <td>・3級</td> <td>・4級</td> </tr> </table>	施工箇所	厚さ	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	難燃処理	防火処理	備考		※5.5	・ラワン	※1類	広葉樹	・適用する	・適用する	・適用する				・なし	※2類	※2等以上	・適用しない	・適用しない	・適用しない		施工箇所	厚さ	等級	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	有効断面係数	防虫処理	強度等級	備考		※12	※2級以上	※1類	※1類	※C-D以上		・適用する	・適用する				・1級		・特類			・適用しない	・適用しない		施工箇所	厚さ	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分		※15		※13タイプ	※P又はM		施工箇所	厚さ	等級			・1級	・2級	・3級	・4級
施工箇所	厚さ	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	難燃処理	防火処理	備考																																																																							
	※5.5	・ラワン	※1類	広葉樹	・適用する	・適用する	・適用する																																																																								
		・なし	※2類	※2等以上	・適用しない	・適用しない	・適用しない																																																																								
施工箇所	厚さ	等級	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	有効断面係数	防虫処理	強度等級	備考																																																																						
	※12	※2級以上	※1類	※1類	※C-D以上		・適用する	・適用する																																																																							
		・1級		・特類			・適用しない	・適用しない																																																																							
施工箇所	厚さ	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分																																																																										
	※15		※13タイプ	※P又はM																																																																											
施工箇所	厚さ	等級																																																																													
		・1級	・2級	・3級	・4級																																																																										
6 接着剤	<p>接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。 (12.2.2~3)</p> <p>ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ()</p>																																																																														
7 防蟻・防蟻	<p>「防蟻、防蟻処理が不要な樹種による製材及び集成材」 (12.3.1~2)</p> <p>適用部位: ()</p> <p>「薬剤の加圧注入による防蟻・防蟻処理」</p> <table border="1"> <tr> <th>適用部位</th> <th>保存処理性能区分</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・K2・K3・K4</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・K2・K3・K4</td> </tr> </table> <p>「薬剤の塗布等による防蟻・防蟻処理」</p> <table border="1"> <tr> <th>適用部位</th> <th>処理の方法</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※標仕12.3.1(イ)(b)①~④による</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※標仕12.3.1(イ)(b)①~④による</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※標仕12.3.1(イ)(b)①~④による</td> </tr> </table> <p>「ボード原料接着材への薬剤混入による防蟻・防蟻処理」</p> <p>適用部位: ()</p>	適用部位	保存処理性能区分		・K2・K3・K4		・K2・K3・K4	適用部位	処理の方法		※標仕12.3.1(イ)(b)①~④による		※標仕12.3.1(イ)(b)①~④による		※標仕12.3.1(イ)(b)①~④による																																																																
適用部位	保存処理性能区分																																																																														
	・K2・K3・K4																																																																														
	・K2・K3・K4																																																																														
適用部位	処理の方法																																																																														
	※標仕12.3.1(イ)(b)①~④による																																																																														
	※標仕12.3.1(イ)(b)①~④による																																																																														
	※標仕12.3.1(イ)(b)①~④による																																																																														

10 木造工事	1 軸組構法工事	<p>1) 木材</p> <p>樹種名、種類、等級、寸法等 ※【第2編 表12-2.3.6】の規定による ()</p> <p>代用樹種を使用しない箇所 ()</p> <p>2) 工法</p> <p>用材の工法 ※【第2編 表12-2.3.7】の規定による ()</p> <p>軸組の工法 ※【第2編 表12-2.3.8】の規定による ()</p> <p>構造用面材 ※【第2編 表12-2.3.11~表12-2.3.14】の規定による ()</p>																																																						
	2 大断面集成材工事	<p>製作工場 ※監督員の承諾する工場</p> <p>1) 大断面集成材の製作工法 ()</p> <p>2) 施工管理技術者 施工管理技術者の設置 ・適用する ・適用しない</p> <p>3) 工作図 床書き原寸図 ・作成する ・作成しない</p> <p>4) 大断面集成材</p> <p>大断面集成材の品質等 強度等級は、次による 構成するひき板の品質等による区分</p> <p>JASによる強度等級等</p> <table border="1"> <tr> <td>・ E135-F375</td> <td>・ E120-F330</td> <td>・ E105-F300</td> </tr> <tr> <td>・ E95-F270</td> <td>・ E85-F255</td> <td>・ E75-F240</td> </tr> <tr> <td>・ E65-F225</td> <td>・ ()</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ E125-F360</td> <td>・ E110-F315</td> <td>・ E100-F285</td> </tr> <tr> <td>・ E90-F255</td> <td>・ E30-F240</td> <td>・ E70-F225</td> </tr> <tr> <td>・ E60-F210</td> <td>・ ()</td> <td></td> </tr> </table> <p>・ 対象具等級集成材 ()</p> <p>・ 非対象具等級集成材 ()</p> <p>・ 国土交通大臣が認定したもの ()</p> <p>断面の品質 ※2種 ・ 3種 接着性能 ・ 使用環境1 ・ 使用環境2 樹種 ・ べいまつ ・ からまつ ・ すぎ () () ()</p>	・ E135-F375	・ E120-F330	・ E105-F300	・ E95-F270	・ E85-F255	・ E75-F240	・ E65-F225	・ ()		・ E125-F360	・ E110-F315	・ E100-F285	・ E90-F255	・ E30-F240	・ E70-F225	・ E60-F210	・ ()																																					
	・ E135-F375	・ E120-F330	・ E105-F300																																																					
	・ E95-F270	・ E85-F255	・ E75-F240																																																					
・ E65-F225	・ ()																																																							
・ E125-F360	・ E110-F315	・ E100-F285																																																						
・ E90-F255	・ E30-F240	・ E70-F225																																																						
・ E60-F210	・ ()																																																							
11 屋根及びとい工事	<p>1 長尺金属板葺</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>板及びコイルの種類</th> <th>塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号</th> <th>厚さ</th> <th>屋根葺形式</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※JIS G 3322の屋根用コイル(CGLCCR-20-AZ150)</td> <td></td> <td></td> <td>・心木なし瓦葺葺 ・立平葺・蟻掛葺 ・横葺</td> <td></td> </tr> </table> <p>下葺材料 ※アスファルトルーフィング 940 ・ 改質アスファルトルーフィング下葺材 (一般タイプ・複層材タイプ・粘着層付タイプ) ※設置する(図示) ・ 設置しない</p> <p>2 折板葺</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>形式</th> <th>山高、山ピッチによる区分</th> <th>山高</th> <th>山ピッチ</th> <th>耐力による区分</th> <th>材料による区分</th> <th>厚さ</th> <th>軒先面戸板</th> <th>耐火性能</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・重ね形 ・はげ形 ・かん合形</td> <td>()種</td> <td></td> <td></td> <td>※鋼板製 ・アルミニウム合金板製</td> <td></td> <td></td> <td>・有り・無し</td> <td>・30分 ・無し</td> </tr> </table> <p>材料 ※JIS G 3322の屋根用コイル(CGLCCR-20-AZ150) () 断熱材 ・ 有り(種別: 厚さ(mm)): 防火性能: 時間) ・ 無し</p> <p>3 とい</p> <p>といの材種 (13.5.2~3)(表13.5.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>材種</th> <th>径</th> <th>施工箇所</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>たてとい</td> <td>・硬質ポリ塩化ビニル管 ・配管用鋼管 ・ステンレス鋼管 ・硬質ポリ塩化ビニル管(カラー) ・リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発砲三層管 □G</td> <td></td> <td></td> <td>SUS304、厚2</td> </tr> <tr> <td>軒とい</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>ロックール保温筒及びフェノールフォーム保温筒のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 () 鋼管製といの防露巻き ・ 適用する(工法: ※標仕 表13.5.4による) () ・ 適用しない</p> <p>とい受金物 ※ステンレス製 ・ 鋼製(亜鉛めっき) (13.5.2)(表13.5.2)</p> <p>ルーフトレン</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・ろく屋根用(縦型・横型)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・バルコニー用</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・バルコニー中継用</td> <td></td> </tr> </table>	施工箇所	板及びコイルの種類	塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号	厚さ	屋根葺形式	備考		※JIS G 3322の屋根用コイル(CGLCCR-20-AZ150)			・心木なし瓦葺葺 ・立平葺・蟻掛葺 ・横葺		施工箇所	形式	山高、山ピッチによる区分	山高	山ピッチ	耐力による区分	材料による区分	厚さ	軒先面戸板	耐火性能		・重ね形 ・はげ形 ・かん合形	()種			※鋼板製 ・アルミニウム合金板製			・有り・無し	・30分 ・無し	種別	材種	径	施工箇所	備考	たてとい	・硬質ポリ塩化ビニル管 ・配管用鋼管 ・ステンレス鋼管 ・硬質ポリ塩化ビニル管(カラー) ・リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発砲三層管 □G			SUS304、厚2	軒とい					種別	施工箇所	・ろく屋根用(縦型・横型)		・バルコニー用		・バルコニー中継用	
施工箇所	板及びコイルの種類	塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号	厚さ	屋根葺形式	備考																																																			
	※JIS G 3322の屋根用コイル(CGLCCR-20-AZ150)			・心木なし瓦葺葺 ・立平葺・蟻掛葺 ・横葺																																																				
施工箇所	形式	山高、山ピッチによる区分	山高	山ピッチ	耐力による区分	材料による区分	厚さ	軒先面戸板	耐火性能																																															
	・重ね形 ・はげ形 ・かん合形	()種			※鋼板製 ・アルミニウム合金板製			・有り・無し	・30分 ・無し																																															
種別	材種	径	施工箇所	備考																																																				
たてとい	・硬質ポリ塩化ビニル管 ・配管用鋼管 ・ステンレス鋼管 ・硬質ポリ塩化ビニル管(カラー) ・リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発砲三層管 □G			SUS304、厚2																																																				
軒とい																																																								
種別	施工箇所																																																							
・ろく屋根用(縦型・横型)																																																								
・バルコニー用																																																								
・バルコニー中継用																																																								

12 金属工事	1	あと施工アンカーの確認試験 (14.1.3(1))による確認試験を行う。 (14.1.3)		14 建具工事	1	アルミニウム製建具 (16.2.2)(16.2.4)(16.2.5)(表16.2.1) 性能等級 外部に面する建具 ・A種・B種・C種・D種・E種 防音ドアセット、防音サッシ ・適用する 遮音性の等級() ・適用しない 断熱ドアセット、断熱サッシ ・適用する 断熱性の等級() ・適用しない 耐震ドアセット ・適用する 面内変形追従性の等級() ・適用しない 枠の見込み寸法・建具表による 表面処理 外部に面する建具 ・BA-1種・BA-2種・BB-1種・BB-2種・() 皮膚等の種類(※欄仕表14.2.1による・着色() 屋内の建具 ・BC-1種・BC-2種・() 皮膚等の種類(※欄仕表14.2.1による・着色() 結露水の処理方法 ※図示による・() 水切り板、ぜん板 ※図示による・()		14 建具工事	8	建具用金物 (16.4.6) 標準型建具 ・マスターキー ※製作する (※新規・既存にあわせる) ・製作しない ※シリンダー箱錠 ※レバーハンドル ※ドアクローザー 標準型建具以外の建具 (16.8.2)(表16.8.1) ・マスターキー ※製作する (※新規・既存にあわせる) ・製作しない ※シリンダー箱錠 ※レバーハンドル ・握り玉 ・本締り錠 ・空錠 ※レバーハンドル ・握り玉 グレン錠 ・点検口錠(平面ハンドル錠) ・非常錠 ・() ・() ・ピボットヒンジ ・フロアヒンジ ・ヒンジクローザー(丁番形) ・ヒンジクローザー(ピボット形) ・ドアクローザー ・閉鎖順位調整器 ・押棒、押板 ・アームストッパー ・クレセント ・排煙オペレーター ・レール 形式 ・30本 (個) ・120本 (個) ・60本 (個) ・()本 (個) 鋼製既製品とし、監督員の承認による。(16.8.4)
	2	鉄鋼の亜鉛めっき (14.2.3)(表14.2.2) 表面処理方法 種別 施工箇所(手すり、タラップ以外) 溶融亜鉛めっき ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 電気亜鉛めっき ・E種 ・F種			2	網戸等 (16.2.3) 種類 材質 線径 網目 ・防虫網 ※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製 ・防鳥網 ステンレス(SUS304)線材 1.5mm 網目寸法15mm			9	鍵箱 形式 ・30本 (個) ・120本 (個) ・60本 (個) ・()本 (個) 鋼製既製品とし、監督員の承認による。(16.8.4)
	3	軽量鉄骨天井下地 (14.4.2~4) 野縁等の種類 屋外(※25形・19形) 屋内(※19形・25形) ・屋外の軒天井、ピロティ天井等 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法) ・適用しない 野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔 ※900程度・() 周辺部の端からの間隔 ※図示による・() 野縁の間隔 ※300程度・() ・補強 ※図示による・() ・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合 補強方法 ※図示による・() ・天井のふとところが1.5m以上3.0m以下の場合 補強方法 ※欄仕 14.4.4(7)(イ)による ・図示による ・天井のふとところが3.0mを超える場合 補強方法 ※図示による・() ・天井下地材における耐震性を考慮した補強 補強箇所 ※図示による・() 補強方法 ※図示による・()			3	樹脂製建具 (16.3.2) 性能等級 外部に面する建具 ・A種・B種・C種・D種・E種 防音ドアセット、防音サッシ ・適用する 遮音性の等級(・T-1・T-2) ・適用しない 断熱ドアセット、断熱サッシ ・適用する 断熱性の等級(・H-4・H-5・H-6) ・適用しない 耐震ドアセット ・適用する 面内変形追従性の等級() ・適用しない			10	自動ドア開閉機構 (16.9.2~3) 自動ドア 性能 防錆 センサーの種類 凍結防止 ・SSLD-1 ※欄仕 ・SSLD-2 表16.9.1 ・DSLD-1 による ・DSLD-2・() ・図示による・() ・マットスイッチ ・適用する ・適用しない ※光線(反射)スイッチ ※熱線スイッチ ※音波スイッチ ※光電スイッチ ※電波スイッチ ※タッチスイッチ ※押しボタンスイッチ ※ペダルスイッチ ※多機能トイスイッチ ・行う(適用箇所は建具表による) ・行わない
	4	軽量鉄骨壁下地 (14.5.3)(表14.5.1) スタッド、ランナーの種類 (表14.5.1)によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 スタッドの高さが5.0mを超える場合 ※図示による・()			4	鋼製建具 (16.2.2)(16.4.2~4)(表16.4.2) 性能等級 簡易気密型・適用する ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ・S-4・S-5 防音ドアセット、防音サッシ ・適用する 遮音性の等級() ・適用しない 断熱ドアセット、断熱サッシ ・適用する 断熱性の等級() ・適用しない 耐震ドアセット ・適用する 面内変形追従性の等級() ・適用しない 鋼板 材料 めっき量 厚さ ・JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板) ※Z12又はF12・表16.4.2による ・JIS G 3317(溶融亜鉛5%アルミニウム合金めっき鋼板) ※Y08			11	自閉式上吊り引戸装置 (16.10.2~3)(表16.10.1) 性能 ※欄仕 表16.10.1による
	5	金属成形板張り 材質 ・アルミニウム・() 製法 ※押出し・プレス・ロール 寸法 板幅 ※100・() 板厚 ※1.0・() 形状 ・スパンドレル形 ・パネル形 表面処理 ・B-1種 ・C-1種 等 ・B-2種 ・C-2種 伸縮調整継手 ・設ける ・設けない			5	鋼製軽量建具 (16.2.2)(16.5.2~4) 性能等級 簡易気密型・適用する ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ・S-4・S-5 防音ドアセット、防音サッシ ・適用する 遮音性の等級() ・適用しない 断熱ドアセット、断熱サッシ ・適用する 断熱性の等級() ・適用しない 耐震ドアセット ・適用する 面内変形追従性の等級() ・適用しない 鋼板 ※亜鉛めっき鋼板 ・ビニル被膜鋼板 ・カラー鋼板 鋼板の厚さ・欄仕表16.5.1による 召合せ、縦小口包み板等の材質 ・ステンレス鋼板 ※鋼板			12	重量シャッター (16.11.2~4)(表16.11.1) 種類 シャッターケース 耐風圧強度I 開閉形式 備考 ・一般重量 シャッター ※設ける ・外壁用防火シャッター ※設けない ・屋内用防火シャッター ※設ける ・屋内用防塵シャッター () スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ・JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板) ・JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板) めっきの付着量 ※Z12又はF12 電動式の場合の電源 ※三相200V0.75kw以下(過電流保護装置付) ・() 工事範囲 一次側配線は別途工事とし、開閉機構以降の二次配線は本工事に含む。
	6	アルミニウム製笠木 (14.7.2~3)(表14.2.1) 部材の種類 ・250形 ・300形 ・350形 ・板折り曲げ形(本体幅 mm) 板厚(mm) 表面処理 表面処理の種類 ※欄仕 表14.2.1による・() 被膜等の種類 ※欄仕 表14.2.1による・() 着色()			6	ステンレス製建具 (16.2.2)(16.4.2)(16.6.2~4) 性能等級 簡易気密型・適用する ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ・S-4・S-5 防音ドアセット、防音サッシ ・適用する 遮音性の等級() ・適用しない 断熱ドアセット、断熱サッシ ・適用する 断熱性の等級() ・適用しない 耐震ドアセット ・適用する 面内変形追従性の等級() ・適用しない 鋼板(屋外) ※SUS430JIL、SUS443J1、SUS304 鋼板(屋内) ※SUS430、SUS430JL、SUS443J1、SUS304 表面仕上げ ※HL仕上げ ・鏡面仕上げ ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ(補強あり) (16.6.5)			13	軽量シャッター (16.12.2~4) 開閉形式 シャッターケース 耐風圧強度(N/㎡) ※手動式 ※設ける ・上部電動式(手動併用) ・設けない ・ 50 ・ 65 ・ 80 スラットの材質 めっき量 ・JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板) ※Z06又はF06 ・JIS G 3322(塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板) ※AZ90 スラットの形状 ガイドレール・産金の材質 ※インターロッキング形 ※ステンレス(SUS304) ・オーバーラッピング形 ・溶融亜鉛めっき鋼板 電源 ※単相 100V(過電流保護装置付) ・() 工事範囲 一次側配線は別途工事とし、開閉機構以降の二次配線は本工事に含む。 ※障害物感知装置(自動閉鎖型)

福島県建築関係工事特記仕様書	福島県〇〇建設事務所建築住宅課 電話〇〇〇-〇〇〇〇 FAX〇〇〇-〇〇〇〇 住所 〇〇市××町△△△1-1		建築士事務所名	工事名称
	設計年:令和〇〇年〇〇月		設計者氏名	図面番号



14 オーバーヘッドドア

セクション材料による区分	耐風圧(N/㎡)	開閉方式による区分	収納形式による区分	(16.13.2~3) ガイドレールの材質
※ スチールタイプ ・ アルミウムタイプ ・ ファイバーグラスタイプ	・ 125 ※ バランス式 ・ 100 ・ チェーン式 ・ 75 ・ 電動式 ・ 50		・ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ パーチカル形	※ ステンレス鋼板(SUS304) ・ 溶融亜鉛めっき鋼板

15 ガラス

・ 合わせガラス (16.14.2)

品名	構成種類	性能
・ フロート合わせガラス ・ 網入磨き合わせガラス	・ フロート板合わせガラス ・ 熱線吸収、フロート板合わせガラス ・ 網入磨き、フロート板合わせガラス ・ 網入磨き、熱線吸収板合わせガラス	・ I類 ・ II-1類 ・ II-2類 ・ III類

注) 曲面合わせガラスの性能は I類

・ 強化ガラス

材料板ガラスによる種類	種類	性能
・ フロートガラス ・ 型板ガラス	・ フロート強化ガラス ・ 熱線吸収強化ガラス ・ 型板強化ガラス	・ I類 ・ III類

注) 曲面強化ガラスの性能は I類

・ 熱線吸収ガラス

品名	性能	色調
・ 熱線吸収フロート板ガラス ・ 熱線吸収網入磨き板ガラス	・ 1種 ・ 2種	・ ()

・ 複層ガラス

品名	断熱性	日射熱減へい性
・ 断熱複層ガラス ・ 日射熱減へい複層ガラス	・ 1種 U1 ・ 2種 U2 ・ 3種 U-3-1 ・ 4種 E4 ・ 5種 E5	・ U-3-2

・ 熱線反射ガラス (16.14.2) (16.14.4)

品名	色調	断熱性	耐久性	反射皮膜	映像調整
・ 熱線反射ガラス ・ 高性能熱線反射ガラス	・ ()	※ 1種 ・ 2種	A種 ・ A種 ・ B種	・ 内面 ・ 外面	・ 行う ・ 行わない

・ 倍強度ガラス

材料板ガラスによる種類の名称	色調
・ フロート倍強度ガラス ・ 熱線吸収倍強度ガラス	・ ()

ガラスの留め材及び溝の大きさ (16.14.3) (図16.14.1)

留め材の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)
アルミニウム製	※ シーリング材 ・ ガスケット ・ グレインチャンネル形	※ 標仕 表16.14.1による ・ 図示による ・ ()
鋼製及び鋼製軽量ステンレス製	※ シーリング材 ・ ()	・ ()

ガラスブロック積み (16.14.5)

JIS A 5212によるもの又は評価名簿によるもの	表面形状	寸法	厚さ	色調	防火認定	備考
					・ なし ・ 防火設備	

16 ガラス用フィルム

・ ()

16 塗装工事

1 材料

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆
・ 防火材料 ※ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
次の箇所を除き防火材料とする。(箇所:)

2 素地ごしらえ (18.2.2~7)

下地面等	種類
木部	不透明塗料塗りの場合 ※ A種・B種 透明塗りの場合 ※ B種・A種
鉄鋼面	※ C種・A種・B種
亜鉛めっき鋼面(注)	・ A種・B種
モルタル面及びプラスター面	※ B種・A種
コンクリート面、ALCパネル面及び押出成形セメント板面	※ B種・A種
せっこうボード面及びその他ボード面	目地: 継目処理工法 ※ A種・B種 目地: 継目処理工法以外 ※ B種・A種

注) 亜鉛めっき鋼面の素地ごしらえの種類

種類	施工部位及び塗料種類
A 種	鋼製の建具の場合又は2溶形ポリウレタンエナメル塗料若しくは常温乾燥形ふっ素樹脂エナメル塗料の場合
B 種	A種、C種以外
C 種	下塗りに変成エポキシ樹脂塗料を塗装する場合

3 錆止め塗料塗り (18.3.2~3)

下地面等	工種の種類	塗料の種類
鉄鋼面	見え隠れ部分 ※ A種・B種 見え隠れ部分 ※ B種・A種	
亜鉛めっき鋼面	鋼製建具 ※ A種・B種・C種 鋼製建具以外 ※ C種・A種・B種	・ A種 ・ C種

4 塗装 (18.4.1~18.13.2)

塗装	種類	塗料の種類
・ 合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)	木部屋外 ※ A種・B種 木部屋内 ※ B種・A種 鉄鋼面 ※ B種・A種 亜鉛めっき鋼面	※ 1種・2種 ※ 1種・2種 ※ 1種・2種 ※ 1種・2種
・ クリヤラッカー塗り(CL)	鉄鋼面	※ B種・A種
・ アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り(NAD)	鉄鋼面	※ B種・A種
・ 耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面	上塗り等級()級 上塗り等級()級
・ つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G)	屋内の鉄鋼面	※ B種・A種
・ 合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)	鉄鋼面	※ B種・A種
・ 合成樹脂エマルション模様塗料塗り(EP-T)	鉄鋼面	※ B種・A種
・ ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)	鉄鋼面	※ B種・A種
・ ラッカーエナメル塗り(LE)	鉄鋼面	※ B種・A種
・ オイルステン塗り(OS)	鉄鋼面	※ B種・A種
・ 木材保護塗料塗り(WP)	木材	※ B種・A種

17 内装工事

8 フローリング張り

単層フローリング (19.5.2)

種類	工法	樹種	厚さ	大きさ	仕上塗装
・ フローリングボード	・ 釘留め工法(根太張り) ・ 釘留め工法(直張り)	・ ふな ※ なら	・ 15 ・ 12以上	・ 板幅 ・ 板長さ500以上	・ 塗装品 ・ 無塗装品
・ フローリングブロック	・ 接着工法 ・ モルタル埋込工法			※ 303角 ・ ()	
・ モザイクパーケット	・ 接着工法			・ ()	

間伐材の適用 ・ 適用する ・ 適用しない

天然木化粧複合フローリング

工法	樹種	厚さ/大きさ(mm)	種別	防湿処理	塗装仕上げ
・ 釘留め工法(根太張り) ・ 釘留め工法(直張り) ・ 接着工法	・ なら	・ 板厚 ・ 8以上 ・ 板幅 ・ 75以上 ・ 板長さ ・ 900以上	・ A種 ・ B種 ・ C種	・ 適用する ・ 適用しない	・ 塗装品 ・ 無塗装品

接着剤工法の場合の緩衝材 ※ 合成樹脂発泡シート
現場塗装仕上げ ・ 行う (施工箇所) ・ 行わない
※ ウレタン樹脂ワニス塗り
・ オイルステンの上、ワックス塗り
・ 生地そのままワックス塗り

9 畳敷き (19.6.2) (表19.6.1)

種別 ・ A種・B種 ・ C種・D種(畳床: ・ KT-)
下地の種類 ・ 横仕 表12.6.1による床組
・ ポリスチレンフォーム床下地(ノンフロ)

畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを放散しないか、放散が極めて少ない材料を使用したものとする。

10 せっこうボードその他ボード張り (19.7.2~3) (表19.7.1)

種類	JIS記号	厚さ、規格等
・ 硬質木毛セメント板	HW	・ 15 ・ 20 ・ 25 ・ ()
・ 中質木毛セメント板	MW	・ 15 ・ 20 ・ 25 ・ ()
・ 普通木毛セメント板	NW	・ 15 ・ 20 ・ 25 ・ ()
・ 硬質木片セメント板	HF	・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 21
・ 普通木片セメント板	NF	・ 30
・ けい酸カルシウム板	0.8FK 1.0FK	タイプ2(無石綿) ※ 6 ・ 8
・ ロックウール化粧吸音板	DR	・ フラットタイプ (・ 9(不燃) ・ 12) ・ 凹凸タイプ (・ 12(不燃) ・ 15 ・ 19)
・ ロックウール吸音ボード1号	RW-B	・ 12 ・ 15 ・ 25 ・ ()
・ グラスウール吸音ボード32K	GW-B	※ 25(ガラスクロス包) ・ ()
・ せっこうボード	GB-R	※ 12.5(不燃) ・ 15(不燃)
・ 不燃積層せっこうボード	GB-NC	9.5(不燃)化粧無(下張り用) 化粧有(トラバーチン模様)
・ シーリングせっこうボード	GB-S	12.5(不燃)
・ 強化せっこうボード	GB-F	※ 12.5(不燃) ・ 15(不燃)
・ せっこうラスボード	GB-L	9.5
・ 化粧せっこうボード(木目)	GB-D	12.5(不燃)幅440mm程度 模様(・ 柎目 ・ 板目) 専用下地材有り
・ 化粧せっこうボード(トラバーチン模様)	GB-D	9.5(準不燃)
・ 普通合板		表面の材質 生地、透明塗料塗り(※ラワン程度) 不透明塗料塗り(※シナ程度) 板面の品質() 厚さ(mm)() 接着の程度() ・ 防虫処理 ・ 難燃処理 ・ 防湿処理
・ 天然木化粧合板		樹種名() 接着の程度(・ 1種 ・ 2種) 厚さ(mm)() ・ 防虫処理 ・ 難燃処理 ・ 防湿処理
・ 特殊加工化粧合板		化粧加工の方法 ・ オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装 表面性能()タイプ 接着の程度(・ 1種 ・ 2種) 厚さ(mm)() ・ 防虫処理 ・ 難燃処理 ・ 防湿処理
・ メラミン樹脂化粧板		JIS K 6903による(※1.2 ・ ())
・ ポリエステル樹脂化粧板		
・ ミディアムデンシティファイバーボード	MDF	・ 3 ・ 7 ・ 9 ・ 12
・ 単板張りパーティクルボード		・ 無研磨板 ・ 研磨板 ・ 10 ・ 12 ・ 15 ・ 18
・ 化粧パーティクルボード		・ 単板オーバーレイ ・ プラスチックオーバーレイ ・ 10(難燃) ・ 12(難燃)
・ ハードボード(素地)	HB	・ 研磨板 (・ スタンダード ・ テンパード)
・ ハードボード(化粧)		・ 内装用 ・ 外装用 ・ 2.5 ・ 3.5 ・ 5 ・ 7
・ インシュレーションボード	IB	A級(・ 天井仕上 ・ 内装仕上) ・ 9 ・ 12 ・ 15 ・ 18

せっこうボード等の下地は図示による
遮音シール材 ・ 適用する (・ シーリング材 ・ ジョイントコンパウンド)
・ 適用しない

合板類の張付け ※ B種
せっこうボードの目地工法 ・ 仕上表による

15 カーテンウォール工事

1 取付方法、性能等

・ 図示による

2 メタルカーテンウォール (17.2.2)

カーテンウォールの材料	規格	映像調整
※ アルミニウム製	※ 標仕 16.2.3による ・ ()	・ 行う ・ 行わない
・ ステンレス		

製品及び取付位置の寸法許容差 ※ 標仕 表17.2.1~3による
ガラス溝の寸法、形状 ※ 製造所の仕様による

3 PCカーテンウォール (17.3.2~5)

カーテンウォールの材料

コンクリート ※ 標仕 17.3.2(1) (ア) (イ)による
鉄筋 ※ 295A (・ D13 ・ D10)
補強鉄線の径(mm) ※ 3.2 ・ 4.0 ・ 5.0 ・ 6.0
配筋 ※ 図示による

先付けの材料 ・ サッシ枠 ・ Gondラ用ガイドレール
表面仕上げ剤 ・ 磁器質タイル ・ 磁器質タイル
・ 石材 (・ 花こう岩 ・ 大理石)

ガスケットを用いる場合のアンカー溝の寸法及び寸法許容差(mm)
・ h=1~+2, W1及びW2=±1
製品及び取付位置の寸法許容差 ※ 標仕 表17.3.1~2による
・ ()

17 内装工事

1 接着剤 (19.2.2)

ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆
接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。

2 ビニル床シート (19.2.2~3)

種類	JIS記号	色柄	特殊機能	厚さ	工法
・ 発泡層のないもの ・ 発泡層のあるもの	※ FS (複層ビニル床シート)	・ 無地 ・ マーブル柄	・ 帯電防止 ・ 耐動過重性 ・ 防滑性 ・ 耐薬品性	※ 2.0	※ 熱溶接 ・ 突付け

3 ビニル床タイル (19.2.2~3)

JIS記号	色柄	寸法	特殊機能	厚さ
・ FT (複層ビニル床タイル)	・ 無地 ・ 柄物	※ 300角 ・ 450角	・ 帯電防止 ・ 防滑性	※ 2.0 ・ 2.5 ・ 3.0
・ KT (コンポジションビニル床タイル)	・ 無地 ・ 柄物	・ 300角 ・ 450角	・ 帯電防止 ・ 防滑性	・ 2.0 ・ 3.0
・ FOA (層数キビニル床タイル)	・ 無地 ・ 柄物	・ 300角 ・ 450角	・ 帯電防止 ・ 防滑性	・ ()

4 ビニル幅木 (19.2.2)

材種	厚さ	高さ
※ 軟質 ・ 硬質 ・ 溶接	※ 2.0	※ 60 ・ 75 ・ 100

5 ゴム床タイル (19.2.2)

色柄	厚さ	寸法(mm)
・ ()	・ 3.0 ・ 4.5 ・ 6.0	・ 9.0

6 カーペット敷き (19.3.2~3)

タイルカーペット	色柄	帯電性
・ 500角 ・ ()	※ 無地 ・ 柄物	※ 3kV以下 ・ その他

タイルカーペットの敷き方 平掃 ※ 市松敷き ・ 模様流し
階段部分 ※ 模様流し ・ 市松敷き

見切り、押え金物 ・ 適用する (材質、形状等 ※ 図示)
・ 適用しない

7 合成樹脂塗床 (19.4.2~3) (表19.4.1~8)

種別	工法	仕上げの種類
・ 厚膜型塗床材 ・ 弾性ウレタン樹脂系塗床	・ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ	・ つや消し仕上げ
・ 厚膜型塗床材 ・ エポキシ樹脂系塗床	・ 薄膜流し展べ工法 ・ 厚膜流し展べ工法 ・ 樹脂モルタル工法	・ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ
・ 薄膜型塗床材 ・ ()		

17	内装工事	11 壁紙張り	<table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>壁紙の種類</th> <th>防火種別</th> <th>商品名(程度)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 不燃 準不燃 不燃 準不燃 不燃 準不燃 不燃 準不燃 </td> <td></td> </tr> </table> <p>商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。</p> <p>素地ごしらの種類</p> <table border="1"> <tr> <th>モルタル及びプラスター面</th> <th>A種</th> <th>B種</th> </tr> <tr> <td>せつこうボード面</td> <td>※ A種</td> <td>※ B種</td> </tr> <tr> <th>コンクリート及びALC面</th> <td>A種</td> <td>B種</td> </tr> </table>	施工箇所	壁紙の種類	防火種別	商品名(程度)			<ul style="list-style-type: none"> 不燃 準不燃 不燃 準不燃 不燃 準不燃 不燃 準不燃 		モルタル及びプラスター面	A種	B種	せつこうボード面	※ A種	※ B種	コンクリート及びALC面	A種	B種	18 ユニット及びその他工事	13 カーテン	<table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>開閉操作</th> <th>ひだの種類</th> <th>きれ地の種類</th> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> シングル ダブル </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 片引き 引分け </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 手引き ひも引き 電動 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> フランスひだ 箱ひだ、つまひだ ブレンひだ、片ひだ </td> </tr> </table>	形式	開閉操作	ひだの種類	きれ地の種類	<ul style="list-style-type: none"> シングル ダブル 	<ul style="list-style-type: none"> 片引き 引分け 	<ul style="list-style-type: none"> 手引き ひも引き 電動 	<ul style="list-style-type: none"> フランスひだ 箱ひだ、つまひだ ブレンひだ、片ひだ 	20 舗装工事	3 アスファルト舗装	<p>加熱アスファルト混合物の種類 (22.4.4)</p> <table border="1"> <tr> <th>一般地域</th> <th>密粒度アスファルト混合物 (13)</th> <th>寒冷地</th> <th>密粒度アスファルト混合物 (13F)</th> </tr> <tr> <td>・細粒度アスファルト混合物 (13)</td> <td></td> <td>・細粒度キヤップアスファルト混合物 (13F)</td> <td></td> </tr> </table> <p>シールコートの施工</p> <table border="1"> <tr> <th>アスファルト混合物等の抽出試験</th> <th>行う</th> <th>行わない</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※ (22.4.5)</td> <td>※ (22.4.6)</td> </tr> </table>	一般地域	密粒度アスファルト混合物 (13)	寒冷地	密粒度アスファルト混合物 (13F)	・細粒度アスファルト混合物 (13)		・細粒度キヤップアスファルト混合物 (13F)		アスファルト混合物等の抽出試験	行う	行わない		※ (22.4.5)	※ (22.4.6)	4 コンクリート舗装	<p>早強セメント ※ 使用しない</p> <p>溶接金網 ※ 使用する</p> <p>試験 ※ 使用する</p> <p>コンクリート版の厚さの試験 ・ 行う ・ 行わない (22.5.6)</p>	5 ブロック系舗装	<p>・ コンクリート平板舗装</p> <p>・ インターロック系ブロック舗装 (22.8.2~3)</p>	6 車止め	<p>車止め用既製コンクリート W200×L600×H120 小型反射板付き</p> <p>全面接着アンカー併用固定(掘り込み30mm埋め込み65mm以上)</p>	7 区画線等	<p>トラフィックペイント JIS規格品</p> <p>※ 溶融型 (α1.5) ※ 加熱型 (α1.0程度)</p> <p>区画線幅 ※ 150</p> <p>・ 身障者専用駐車スペース表示 (1300角)</p> <p>・ 駐車スペースナンバー表示 (350角)</p>																																																																															
		施工箇所	壁紙の種類	防火種別	商品名(程度)																																																																																																																																		
		<ul style="list-style-type: none"> 不燃 準不燃 不燃 準不燃 不燃 準不燃 不燃 準不燃 																																																																																																																																					
モルタル及びプラスター面	A種	B種																																																																																																																																					
せつこうボード面	※ A種	※ B種																																																																																																																																					
コンクリート及びALC面	A種	B種																																																																																																																																					
形式	開閉操作	ひだの種類	きれ地の種類																																																																																																																																				
<ul style="list-style-type: none"> シングル ダブル 	<ul style="list-style-type: none"> 片引き 引分け 	<ul style="list-style-type: none"> 手引き ひも引き 電動 	<ul style="list-style-type: none"> フランスひだ 箱ひだ、つまひだ ブレンひだ、片ひだ 																																																																																																																																				
一般地域	密粒度アスファルト混合物 (13)	寒冷地	密粒度アスファルト混合物 (13F)																																																																																																																																				
・細粒度アスファルト混合物 (13)		・細粒度キヤップアスファルト混合物 (13F)																																																																																																																																					
アスファルト混合物等の抽出試験	行う	行わない																																																																																																																																					
	※ (22.4.5)	※ (22.4.6)																																																																																																																																					
18	ユニット及びその他工事	1 フリーアクセスフロア	<p>(20.2.2)</p> <p>構造形式</p> <ul style="list-style-type: none"> パネル構造 溝構造 <p>寸法(mm) ※ 450角以上600角以下</p> <p>高さ(mm) ※ 100 ・ 110 (床版から仕上材天端までの寸法)</p> <p>耐震性能 ※ 1.0G ・ 0.6G</p> <p>所定荷重(N) ※ 3000 ・ 5000</p> <p>表面仕上げ材 ※ タイルカーベット</p> <p>床パネルの材質 ※ アルミ合金ダイカスト製、スチール製又は複合材等</p> <p>構造材の材質 ※ アルミニウム製</p> <p>配線用取り出し フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合</p> <p>パネル ※ 20~30%</p> <p>配線取り出し ・ パネル1枚につき、40mm×80mm程度の開口1箇所以上</p> <p>開口 ※ 図示による</p> <p>空調用吹き出し ・ なし</p> <p>(吸い込み)パネル ※ あり(形式、施工箇所: 図示による)</p> <p>ローリングロード性能 ※ 適用しない</p>	21 植栽及び屋上緑化工事	1 植栽地の確認等	<p>土壌の水素イオン濃度(pH)試験 ・ 行う ・ 行わない</p> <p>水溶性塩類(EC)の試験 ・ 行う ・ 行わない (23.1.3)</p>	2 植栽基盤の整備	<p>土壌改良材 ・ 適用する ・ 適用しない (23.2.2)</p>	3 植込み用土	<p>※ 建設発生土の良質土 ・ 客土 (23.2.3)</p>	4 土壌改良材	<p>・ 適用する(施工範囲 図示による) (23.2.3)</p>	5 芝	<p>種類 ※ コウライ芝 ・ ノシバ (23.4.2)</p>	6 樹木札	<p>図示による</p>	7 枯損樹木などの植替え	<p>※ 引渡し日から1年</p> <p>・ ()</p>	8 その他																																																																																																																				
		2 可動間仕切	<p>(20.2.4)</p> <table border="1"> <tr> <th>操作形式</th> <th>圧縮装置</th> <th>総厚さ(mm)</th> <th>表面仕上げ材</th> <th>遮音性</th> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> スタッド式(内蔵) スタッド式(露出) パネル式 スタッドパネル式 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> プッシュ式 電動式 部分電動式 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 60程度 100程度 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 鋼板 焼付塗装 壁紙張り </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 36未満 36以上 </td> </tr> </table>		操作形式	圧縮装置	総厚さ(mm)	表面仕上げ材	遮音性	<ul style="list-style-type: none"> スタッド式(内蔵) スタッド式(露出) パネル式 スタッドパネル式 	<ul style="list-style-type: none"> プッシュ式 電動式 部分電動式 	<ul style="list-style-type: none"> 60程度 100程度 	<ul style="list-style-type: none"> 鋼板 焼付塗装 壁紙張り 	<ul style="list-style-type: none"> 36未満 36以上 	3 移動間仕切	<p>表面仕上げ材</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>パネル表面仕上げ</th> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> 鋼板 () </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 0.6 0.8 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> メラミン樹脂焼付 又はアクリル樹脂焼付 壁紙張り </td> </tr> </table> <p>パネル内に取り付ける建具</p> <ul style="list-style-type: none"> あり(※図示による) なし 	材質	厚さ(mm)	パネル表面仕上げ	<ul style="list-style-type: none"> 鋼板 () 	<ul style="list-style-type: none"> 0.6 0.8 	<ul style="list-style-type: none"> メラミン樹脂焼付 又はアクリル樹脂焼付 壁紙張り 	4 トイレブース	<p>(20.2.5)</p> <table border="1"> <tr> <th>表面材の種類</th> <th>脚部形状</th> <th>形状</th> <th>材質</th> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ※メラミン樹脂系化粧板 ポリエステル樹脂系化粧板 </td> <td>※ 幅木タイプ</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 標準 R </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> アルミニウム製 ステンレス製 表面材と同等 </td> </tr> </table>	表面材の種類	脚部形状	形状	材質	<ul style="list-style-type: none"> ※メラミン樹脂系化粧板 ポリエステル樹脂系化粧板 	※ 幅木タイプ	<ul style="list-style-type: none"> 標準 R 	<ul style="list-style-type: none"> アルミニウム製 ステンレス製 表面材と同等 	5 視覚障害者用床タイル	<p>種類</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>寸法(mm)</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> 塩化ビニル製 磁器質タイル レンジコンクリート製 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 300角 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 7.0 </td> </tr> </table> <p>※ 磁器質タイル</p> <ul style="list-style-type: none"> せつ器質タイル コンクリート製 <p>※ 磁器質タイル</p> <ul style="list-style-type: none"> せつ器質タイル コンクリート製 <p>ブロックパターンはJIS T 9251による</p>	種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	<ul style="list-style-type: none"> 塩化ビニル製 磁器質タイル レンジコンクリート製 	<ul style="list-style-type: none"> 300角 	<ul style="list-style-type: none"> 7.0 	6 階段滑り止め	<p>(20.2.6)</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>幅(mm)</th> <th>取付工法</th> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ステンレス製(SUS304) ビニルタイヤ入り </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ※ 35 () </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ※ 接着工法 () </td> </tr> </table>	材質	幅(mm)	取付工法	<ul style="list-style-type: none"> ステンレス製(SUS304) ビニルタイヤ入り 	<ul style="list-style-type: none"> ※ 35 () 	<ul style="list-style-type: none"> ※ 接着工法 () 	7 床目地罫	<p>(20.2.7)</p> <p>床仕上げの異なる箇所には目地罫を入れる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ ステンレス製 □型 (幅40程度 α1.5) ステンレス製 6×12 黄銅製 6×12 	8 手すり	<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>表面仕上げ</th> <th>直径(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> タモ ステンレスパイプ 鋼製パイプ ビニル製ハンドレール </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> クリアラッカー HL EP-G SOP </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 35 45 () </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 1段手すり 2段手すり () <p>(指づめ防止材共)</p> </td> </tr> </table>	材質	表面仕上げ	直径(mm)	備考	<ul style="list-style-type: none"> タモ ステンレスパイプ 鋼製パイプ ビニル製ハンドレール 	<ul style="list-style-type: none"> クリアラッカー HL EP-G SOP 	<ul style="list-style-type: none"> 35 45 () 	<ul style="list-style-type: none"> 1段手すり 2段手すり () <p>(指づめ防止材共)</p>	9 ホワイトボード	<p>(20.2.8)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>取付方法</th> <th>形状</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>ほうろう白板</td> <td>直付け</td> <td>※ 平面</td> <td>マーキングペン受け付き</td> </tr> </table>	種類	取付方法	形状	備考	ほうろう白板	直付け	※ 平面	マーキングペン受け付き	10 煙突ライニング	<p>(20.2.11)</p> <p>・ 煙突用成形ライニング材 適用安全使用温度 ※ 400℃ ・ 650℃</p> <p>・ ()</p> <p>・ キヤスタブル耐火材 工法 ・ こて押え ・ ()</p>	11 ブラインド	<p>(20.2.12)</p> <table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>※ 横型ブラインド</th> <th>※ 縦型ブラインド</th> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ※ キヤ式 ※ コード式 ※ スラットの幅 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ※ コード式 ※ 操作棒式 ※ 2本操作コード方式 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ※ 2本操作コード方式 ※ 80 ※ 100 </td> </tr> </table>	形式	※ 横型ブラインド	※ 縦型ブラインド	<ul style="list-style-type: none"> ※ キヤ式 ※ コード式 ※ スラットの幅 	<ul style="list-style-type: none"> ※ コード式 ※ 操作棒式 ※ 2本操作コード方式 	<ul style="list-style-type: none"> ※ 2本操作コード方式 ※ 80 ※ 100 	12 ロールスクリーン	<p>(20.2.13)</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>操作方式</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ※ ポリエステル ・ 綿 ・ ガラス繊維 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ※ チェーン式 ・ プルコード式 ・ 電動式 </td> <td></td> </tr> </table>	材質	操作方式	備考	<ul style="list-style-type: none"> ※ ポリエステル ・ 綿 ・ ガラス繊維 	<ul style="list-style-type: none"> ※ チェーン式 ・ プルコード式 ・ 電動式 		19 排水工事	1 排水管	<p>材質</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 遠心力鉄筋コンクリート管 (21.2.1)(表21.2.1) ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (※ VP ・ VU ・ RS-VU) ・ 排水用リサイクル硬質塩化ビニル管 	2 鋳鉄製ふた	<p>鋳鉄製マンホールふた</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>適用荷重</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水封形 ・ 簡易密閉形(パッキン形) ・ 密閉形(テーパーパッキン形) ・ 中ふた付き密閉形(テーパーパッキン形) ・ RS-VU </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ T-2用 ・ T-6用 ・ T-20用 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 有り ・ 無し </td> </tr> </table> <p>上記以外の品質等は(公社)空気調和衛生工学会SHASE-S209による。</p> <p>※ 表面には用途別の標準文字付きとする。</p>	種類	適用荷重	備考	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水封形 ・ 簡易密閉形(パッキン形) ・ 密閉形(テーパーパッキン形) ・ 中ふた付き密閉形(テーパーパッキン形) ・ RS-VU 	<ul style="list-style-type: none"> ・ T-2用 ・ T-6用 ・ T-20用 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有り ・ 無し 	3 グレーチング	<p>(21.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>形式</th> <th>用途</th> <th>適用荷重</th> <th>メインバーピッチ</th> <th>亜鉛めっき(付着量)</th> <th>上面形状</th> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 鋼製 ・ ホールふた ・ ステンレス製 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 受伸付き、ボルト固定 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 溝ふた(横断用) ・ 溝ふた(側溝用) ・ 橋ふた ・ U字溝用 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歩行用 ・ T-2用 ・ T-6用 ・ T-14用 ・ T-20用 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 細め ・ () ・ 普通目 ・ 細め </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ () </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 凹凸形 ・ () ・ 平形 </td> </tr> </table>	材質	形式	用途	適用荷重	メインバーピッチ	亜鉛めっき(付着量)	上面形状	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鋼製 ・ ホールふた ・ ステンレス製 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 受伸付き、ボルト固定 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 溝ふた(横断用) ・ 溝ふた(側溝用) ・ 橋ふた ・ U字溝用 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歩行用 ・ T-2用 ・ T-6用 ・ T-14用 ・ T-20用 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 細め ・ () ・ 普通目 ・ 細め 	<ul style="list-style-type: none"> ・ () 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 凹凸形 ・ () ・ 平形 	4 埋戻し土	<p>※ B種 ・ ()</p>	20 舗装工事	1 路床	<p>路床の材料 (22.2.2~3)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材料</th> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 盛土 ・ 遮断層 ・ 凍上抑制層 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土 (75µmふるい通過量10%以下) ・ 再生クラッシュチャラン ・ クラッシュチャラン ・ フィルター層 </td> </tr> </table> <p>・ 川砂、海砂又は良質な山砂 (75µmふるい通過量10%以下)</p> <p>・ 川砂、海砂又は良質な山砂 (75µmふるい通過量10%以下)</p> <p>試験</p> <table border="1"> <tr> <th>砂の粒度試験</th> <th>行う</th> <th>行わない</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※ (22.2.5)</td> <td></td> </tr> </table> <p>路床度の支持力比(CBR)試験 ・ 行う ・ 行わない</p> <p>路床締固め度の試験 ・ 行う ・ 行わない</p>	種類	材料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 盛土 ・ 遮断層 ・ 凍上抑制層 	<ul style="list-style-type: none"> ・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土 (75µmふるい通過量10%以下) ・ 再生クラッシュチャラン ・ クラッシュチャラン ・ フィルター層 	砂の粒度試験	行う	行わない		※ (22.2.5)		2 路盤	<p>路盤の材料 (22.3.3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 砕石 C-40 ※ 再生クラッシュチャラン RC-40 ・ クラッシュチャラン鉄鋼スラグ CS-40 <p>試験</p> <table border="1"> <tr> <th>路床締固め度の試験</th> <th>行う</th> <th>行わない</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 行う</td> <td>・ 行わない (22.3.5)</td> </tr> </table>	路床締固め度の試験	行う	行わない
操作形式	圧縮装置	総厚さ(mm)	表面仕上げ材	遮音性																																																																																																																																			
<ul style="list-style-type: none"> スタッド式(内蔵) スタッド式(露出) パネル式 スタッドパネル式 	<ul style="list-style-type: none"> プッシュ式 電動式 部分電動式 	<ul style="list-style-type: none"> 60程度 100程度 	<ul style="list-style-type: none"> 鋼板 焼付塗装 壁紙張り 	<ul style="list-style-type: none"> 36未満 36以上 																																																																																																																																			
材質	厚さ(mm)	パネル表面仕上げ																																																																																																																																					
<ul style="list-style-type: none"> 鋼板 () 	<ul style="list-style-type: none"> 0.6 0.8 	<ul style="list-style-type: none"> メラミン樹脂焼付 又はアクリル樹脂焼付 壁紙張り 																																																																																																																																					
表面材の種類	脚部形状	形状	材質																																																																																																																																				
<ul style="list-style-type: none"> ※メラミン樹脂系化粧板 ポリエステル樹脂系化粧板 	※ 幅木タイプ	<ul style="list-style-type: none"> 標準 R 	<ul style="list-style-type: none"> アルミニウム製 ステンレス製 表面材と同等 																																																																																																																																				
種類	寸法(mm)	厚さ(mm)																																																																																																																																					
<ul style="list-style-type: none"> 塩化ビニル製 磁器質タイル レンジコンクリート製 	<ul style="list-style-type: none"> 300角 	<ul style="list-style-type: none"> 7.0 																																																																																																																																					
材質	幅(mm)	取付工法																																																																																																																																					
<ul style="list-style-type: none"> ステンレス製(SUS304) ビニルタイヤ入り 	<ul style="list-style-type: none"> ※ 35 () 	<ul style="list-style-type: none"> ※ 接着工法 () 																																																																																																																																					
材質	表面仕上げ	直径(mm)	備考																																																																																																																																				
<ul style="list-style-type: none"> タモ ステンレスパイプ 鋼製パイプ ビニル製ハンドレール 	<ul style="list-style-type: none"> クリアラッカー HL EP-G SOP 	<ul style="list-style-type: none"> 35 45 () 	<ul style="list-style-type: none"> 1段手すり 2段手すり () <p>(指づめ防止材共)</p>																																																																																																																																				
種類	取付方法	形状	備考																																																																																																																																				
ほうろう白板	直付け	※ 平面	マーキングペン受け付き																																																																																																																																				
形式	※ 横型ブラインド	※ 縦型ブラインド																																																																																																																																					
<ul style="list-style-type: none"> ※ キヤ式 ※ コード式 ※ スラットの幅 	<ul style="list-style-type: none"> ※ コード式 ※ 操作棒式 ※ 2本操作コード方式 	<ul style="list-style-type: none"> ※ 2本操作コード方式 ※ 80 ※ 100 																																																																																																																																					
材質	操作方式	備考																																																																																																																																					
<ul style="list-style-type: none"> ※ ポリエステル ・ 綿 ・ ガラス繊維 	<ul style="list-style-type: none"> ※ チェーン式 ・ プルコード式 ・ 電動式 																																																																																																																																						
種類	適用荷重	備考																																																																																																																																					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 水封形 ・ 簡易密閉形(パッキン形) ・ 密閉形(テーパーパッキン形) ・ 中ふた付き密閉形(テーパーパッキン形) ・ RS-VU 	<ul style="list-style-type: none"> ・ T-2用 ・ T-6用 ・ T-20用 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有り ・ 無し 																																																																																																																																					
材質	形式	用途	適用荷重	メインバーピッチ	亜鉛めっき(付着量)	上面形状																																																																																																																																	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 鋼製 ・ ホールふた ・ ステンレス製 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 受伸付き、ボルト固定 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 溝ふた(横断用) ・ 溝ふた(側溝用) ・ 橋ふた ・ U字溝用 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歩行用 ・ T-2用 ・ T-6用 ・ T-14用 ・ T-20用 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 細め ・ () ・ 普通目 ・ 細め 	<ul style="list-style-type: none"> ・ () 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 凹凸形 ・ () ・ 平形 																																																																																																																																	
種類	材料																																																																																																																																						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 盛土 ・ 遮断層 ・ 凍上抑制層 	<ul style="list-style-type: none"> ・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土 (75µmふるい通過量10%以下) ・ 再生クラッシュチャラン ・ クラッシュチャラン ・ フィルター層 																																																																																																																																						
砂の粒度試験	行う	行わない																																																																																																																																					
	※ (22.2.5)																																																																																																																																						
路床締固め度の試験	行う	行わない																																																																																																																																					
	・ 行う	・ 行わない (22.3.5)																																																																																																																																					

 福島県建築関係工事特記仕様書	福島県〇〇建設事務所建築住宅課 電話〇〇〇-〇〇〇〇 FAX〇〇〇-〇〇〇〇 住所 〇〇市××町△△△1-1		建築士事務所名	工事名称
	設計年: 令和〇〇年〇〇月	設計者氏名	印	図面名称

22 その他

1 揮発性有機化合物の室内濃度の測定
1)対象揮発性有機化合物(VOC)

2)測定室

3)測定方法

※簡易測定法による。

VOCの種類	測定方法
※ホルムアルデヒド ※トルエン※キシレン※スチレン※エチルベンゼン	・検知紙法 ・検知管法 ・定電位電解法 ・吸光度法 ・パッシブ型採取
・ホルムアルデヒド ・アセトアルデヒド ・トルエン ・キシレン ・パラジクロロベンゼン ・スチレン ・エチルベンゼン	・パッシブ型採取

※厚生労働省の標準的測定方法による。

VOCの種類	採取方法	測定方法
・ホルムアルデヒド ・アセトアルデヒド	・DNPH誘導体化固相吸着/溶媒抽出	・高速液体クロマトグラフィー
・トルエン ・キシレン ・パラジクロロベンゼン ・スチレン ・エチルベンゼン	・固相吸着/溶媒抽出法 ・固相吸着/加熱脱着法 ・容器採取法	・()

2 果産材・地域材の活用

1)木工事

2)木造工事

3)石工事

4)その他()工事

果産材を使用部位及び樹種については下記による。(代用樹種は使用できない)

使用部位() 樹種()

地域材を使用する部位及び樹種については下記による。

使用部位() 樹種()

果産材を使用部位及び石材については下記による。(代用石材は使用できない)

使用部位() 材()

地域材を使用する部位及び石材については下記による。

使用部位() 材()

24 施工条件

1 工程関係

※調整無し
・別途工事との工程調整が必要有り
調整項目
・資材等の流用
・施工順序の調整
・仮設及び工事用道路等の調整
・建設機械等の調整
・図示による
・その他()

2 施工時期
施工時間
施工方法

※制限無し
・制限有り
・制限する工程名()
・施工時期(・土日祝日のみ
・図示による
・その他())
・施工時間(・時～時まで
・)
・施工方法()

3 他機関との協議

協議が必要な機関名()
協議完了見込み時期()

4 工事用地

・下記以外は図示等による。
(1)工事車両の駐車場(※構内・())
(2)資材置き場(※構内・())
(3)建設発生土(埋戻し、盛り土用)の仮置場所(※構内・())

・仮設ヤード ※無し ・有り(※図示による・())

5 公害対策

※施工方法の制限無し
・施工方法の制限有り
・騒音
・振動
・水質
・粉じん
・排出ガス
・その他()

・施工方法等
・指定工法名()
・別途協議による
・図示による

・事業損失防止に関する調査
・騒音測定
・振動測定
・水質調査
・近隣家屋の事前・事後調査
・地盤沈下測定
・その他()

・調査箇所
・図示による
・別途協議

・調査時期
・図示による
・()

6 安全対策

・近接公共施設等に対する制限
・近接公共施設名等(・鉄道・電気・ガス・水道・電話・その他())
・制限を受ける工種()

7 その他

※敷地内は禁煙とし、喫煙場所は別途協議による。
※当該工事現場を使用した技術研修会の開催に関する依頼を受けた場合はこれに協力するものとする。

24 施工条件

別表-1の記入上の注意:※を基本とし、他の発注工種が適用する場合には・を○に変え、※を・に変えること。
また、空欄を適用する場合には○を記入し、※を・に変えること。]

別表-1 設備工事との工事区分表

機器の基礎	電気関係	機械関係	工事内容			
			建築工事	電気設備工事	機械設備工事	その他
機器の基礎	電気関係	機械関係	配電盤・制御盤の基礎	※	・	・
			自家発電機の基礎(アンカーボルトを除く)	※	・	・
			避雷針の基礎()	※	・	・
			テレビアンテナ基礎()	※	・	・
			屋内設備(架台、アンカーボルトを除く)	※	・	・
			屋上設備()	※	・	・
			屋外設備()	※	・	・
			架台、アンカーボルト	※	・	・
			特記した基礎	※	・	・
			梁、床、壁	※	・	・
貫通スリーブ	※	・	・			
梁、床、壁	※	・	・			
貫通型型枠	※	・	・			
軽量鉄骨下地、壁、天井ボード類の切込	※	・	・			
埋込形分電盤、端子盤等の仮枠	※	・	・			
上配開口部の補強	※	・	・			
上配開口部の墨出し	※	・	・			
スリーブの穴埋め(型枠の穴埋めを含む)	※	・	・			
フリーアクセスフロア用配線器具	※	・	・			
点検口	※	・	・			
外部取付ガラリ	※	・	・			
湯沸室のフード	※	・	・			
換気扇の取付枠	※	・	・			
流し台	※	・	・			
排水トラップ共	※	・	・			
防油堤	※	・	・			
床下水槽のマンホールふた	※	・	・			
屋外排水管	※	・	・			
雨水立管(たてどい)	※	・	・			
トイレ手すり	※	・	・			
化粧鏡(衛生器具まわり)	※	・	・			
はめ込形洗面器用カウンター(前板共)	※	・	・			
ガスボンベ転倒防止用の鎖	※	・	・			
自動ドア及び電動シャッターなどの制御部と	※	・	・			
操作スイッチ間の配管配線及び操作スイッチ	※	・	・			
防火扉レリーズ	※	・	・			
電極棒	※	・	・			
配線ビッド及びふた	※	・	・			
機器などへの接続(1次側)	※	・	・			
機器付属の制御盤以降の2次側の配線配管(接地共)	※	・	・			
機器付属の制御盤への電源供給配管配線	※	・	・			
自動制御盤と動力盤との電源供給の渡り配管配線	※	・	・			
自動制御盤と動力盤との操作回路の渡り配管配線	※	・	・			
天井吊り形FCU、個別パッケージ、全熱交換ユニット等の機器	※	・	・			
と付属操作スイッチの埋込ボックスと、その渡り配管(接地共)	※	・	・			
天井吊り形FCU、個別パッケージ、全熱交換ユニット等の機器	※	・	・			
と付属操作スイッチと、その渡り配線	※	・	・			
個別パッケージの室内機、室外機の渡り配線(接地共)	※	・	・			
煙感知器から運動制御盤を経て防煙ダンパに至る配管配線	※	・	・			
小便器用節水装置の制御盤以降の2次側の配管配線	※	・	・			
ガス漏れ検知器	※	・	・			
電気錠	※	・	・			
TENキー及び制御盤	※	・	・			
エレベーター出入口三方枠(金属製)	※	・	・			
エレベーター出入口三方枠(石製)	※	・	・			
シャワーユニット	※	・	・			
バスユニット	※	・	・			
洗濯機パン	※	・	・			
システム天井	※	・	・			
ボード・Tバー	※	・	・			
照明ライン設備プレート	※	・	・			
空調ライン設備プレート	※	・	・			
消火器ボックス	※	・	・			
自動制御設備関連のインバーター装置及び壁	※	・	・			
自動制御設備関連のインバーター装置(別途、壁に組込む)	※	・	・			

23 東日本大震災の復興・復興事業における積算方法等

1 資材調達

次の資材については、以下の調達地域等から調達することを想定しているが、安定的な確保を図るために、当該調達地域等以外から調達せざるを得ない場合は、事前に監督員と協議するものとする。また、購入費用及び輸送費等に要した費用について、証明書類(実際の取引伝票等)を監督員に提出するものとし、その費用について設計変更の対象とする。

資材名	規格	調達地域等

2 労働者確保

(1)本工事は元請業者が必要とする共通費における、「共通仮設費のうち仮設建物費」及び「現場管理費のうち労働管理費」の下記に示す費用(以下「実績変更対象間接費」という。)について、契約締結後、労働者確保に要する方針に変更が生じ、建築関係工事積算基準(福島県土木部)に基づき金額相当では適正な工事の実施が困難になった場合は、事前に監督員と協議を行い、協議の結果により実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて最終積算変更時点で設計変更する(労働者確保に関する積算方法の試行工事)である。

営繕費(共通仮設費における仮設建物費):労働者送迎費・宿泊費・借上費
労働管理費:募集及び解散に要する費用・資金以外の食事・通費等に要する費用・福利厚生等に要する費用・純工事費に含まれない作業用具及び作業被服等の費用・安全、衛生に要する費用及び研修訓練等に要する費用・労災保険法による給付以外に災害時に事業主が負担する費用

(2)本工事の予定価格の算出の基礎とした設計額(建築関係工事積算基準に基づき算出した額)における実績変更対象間接費について、その金額または率に占める割合は次のとおりである。

1)共通仮設費に占める、実績変更対象間接費(営繕費):設計書に積上げ計上された金額
2)現場管理費に占める、実績変更対象間接費(労働管理費)の割合: %

(3)受注者は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて設計変更を希望する場合は、実績変更対象間接費に係る費用の内訳を記載した「労働者確保に係る実績報告書(様式1)」及び実績変更対象間接費について実際に支払った全ての証明書類(領収書、領収書の出ないものは金額の適切性を証明する金額計算書など。)を監督員に提出し、設計変更の内容について協議するものとする。

(4)受注者の責めによる工事工程の遅れ等受注者の責めに帰すべき事由による増加費用については、設計変更の対象としない。

(5)発注者は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて設計変更する場合、受注者が実績変更対象工事費について実際に支払った額のうち、証明書類において確認された費用から、建築関係工事積算基準に基づき算出した額における実績変更対象間接費を差し引いた費用を加算して算出する。なお、全ての証明書類の提出がない場合であっても、提出された証明書類をもって設計変更を行うものとする。

(6)受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合については、法的措置及び入札参加資格制限等の措置を行う場合がある。

(7)受注者は、実績変更対象間接費にかかる設計変更について疑義が生じた場合は、監督員と協議するものとする。

25	現場環境改善 (快適トイレの設置)	1 内容	<p>① 受注者は、現場環境改善の一環として、工事現場毎に設置するトイレのうち男女別に1基ずつ以下の(1)～(11)の仕様をすべて満たす快適トイレを設置することとする。ただし、快適トイレの設置が困難な場合は監督員と協議する。(12)～(17)の仕様については、満たしていればより快適に出来ると思われる項目であり、必須ではない。</p> <p>【快適トイレに求める標準仕様(全項目必須)】</p> <p>(1) 洋式便座 (2) 水洗機能(簡易水洗、し尿処理装置付き含む) (3) 臭い逆流防止機能(フロッパー機能) (必要に応じて消臭剤等活用し臭い対策をとること) (4) 容易に開かない施錠機能(二重ロック等) (二重ロックの備えがなくても容易に開かないことを製造者が説明できるもの) (5) 照明設備(電源がなくても良いもの) (6) 衣類掛け等のフック付、又は、荷物置き場設備機能(耐荷重5kg以上)</p> <p>【快適トイレとして活用するために備える付属品(全項目必須)】</p> <p>(7) 現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示 (8) 入口が目隠しの設置(男女別トイレ間も含め入口が直接見えないうような配置等) (9) サニタリーボックス(女性専用トイレに必ず設置) (10) 鏡付きの洗面台 (11) 便座除菌クリーナー等の衛生用品</p> <p>【推奨する仕様、付属品(任意)】</p> <p>(12) 室内寸法900mm×900mm以上(面積A=0.81m²以上ではない。幅・奥行き各900mm以上) (13) 振音装置(機能を含む) (14) 着替え台 (15) 臭気対策機能の多重化 (16) 窓などの室内温度の調整が可能な設備 (17) 小物置き場等(トイレットペーパー予備置き場等)</p> <p>② 受注者は、快適トイレの設置にあたっては、①の内容を満たす参考見積書(標準仕様、付属品の内訳を明示したものを添付し、規格・基数等の詳細について監督員と協議の上決定し、快適トイレ仕様チェックシート及び資料等(カタログなど)を施工計画書提出に合わせ提出する。</p> <p>③ 現場事務所等の屋内に設けるトイレには適用しない。</p>	<p>27 準備期間確保工事</p> <p>・ 1 準備期間確保工事 準備期間確保工事における事務処理要領 この工事は準備期間確保工事であり、受注者は契約締結日から準備期間(〇〇日間)内に着工日を任意に設定できる。なお、契約の締結日までに別紙様式により、着工日(工事の始期)を通知すること。また、契約締結後に、受注者の準備が整った場合は、協議のうえ、工期に係る契約を変更することにより、工事に着手することができるものとする。</p> <p>・ 2 フレックス工事 フレックス工事執行要領 この工事はフレックス工事であり、受注者は発注者が示した工期までの間で、工事の始期及び終期を任意に設定できる。なお、契約の締結日までに別紙様式により、工事の始期及び終期を通知すること。</p> <p>・ 3 着工届の提出 着工届は、着工後速やかに提出すること。</p> <p>・ 4 コリンズの登録 受注時の「コリンズ登録」は、着工後に監督員の確認を受け、着工後、速やかに登録機関に登録申請しなければならない。</p> <p>・ 5 福島県元請・下請関係適正化指導要綱関係 施工体制台帳については、福島県元請・下請関係適正化指導要綱第 10 に基づき、提出すること。</p> <p>・ 6 その他</p>	<p>28 再生資源利用(促進)計画</p> <p>・ 1 再生資源利用計画書 受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令等に基づき、再生資源利用計画書を作成し、施工計画書に含め監督員に写しを提出しなければならない。また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。</p> <p>・ 2 再生資源利用促進計画書 受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥または建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令等に基づき、再生資源利用促進計画書を作成し、施工計画書に含め監督員に写しを提出しなければならない。また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。</p>	2 設置に要する費用	<p>快適トイレに要する費用については、当初契約時は計上していない。月額の実支出がわかる資料により、監督員と協議の上、51,000円/基・月を上限とし、設計変更の対象とする。ただし、運搬費・設置費等は対象外とし、従来品相当額(10,000円/基・月)は差し引くものとする。なお、設計変更数量の上限は、男女別で各1基ずつ合計2基までとする。</p>
		26	特別措置に基づく市場単価の補正	<p>1 内容</p> <p>※ 本工事は、時間外労働時間を短縮するために必要な費用を単価に反映させるため、市場単価及び補正市場単価の補正をする。</p> <p>2 基準</p> <p>※ 令和4年度の公共工事設計労務単価における特別措置を踏まえた建築関係工事に適用する市場単価の運用について</p>	<p>29 総合評価方式における技術提案書の確認</p> <p>1 内容</p> <p>※総合評価方式(標準型・簡易型)における技術提案書に記載された事項の実施状況の確認について</p> <p>総合評価方式において、受注者が技術提案書に記載した事項の具体的な実施方法等を、施工計画書に「総合評価方式における技術提案事項の実施計画」として記載し、提出しなければならない。 なお、施工計画書に記載された「総合評価方式における技術提案事項の実施計画」については、実施状況について発注者の確認を受けなければならない。 確認の方法については、「土木工事共通仕様書 Ⅲ編 2.様式 第8号様式(確認書)」を用いて確認することを原則とする。 また、技術提案事項の履行が確認できない場合は、工事成績評価において減点とする場合があるとともに、入札参加資格制限措置の対象となる場合がある。</p>		

 福島県建築関係工事特記仕様書	福島県〇〇建設事務所建築住宅課 電話〇〇〇-〇〇〇〇 FAX〇〇〇-〇〇〇〇 住所 〇〇市××町△△1-1		建築士事務所名	工事名称	図面番号 建築工事特記仕様書(9)
	設計年: 令和〇〇年〇〇月	設計者氏名	印	図面名称	